

教育復興ボランティア 参加者名簿

この名簿は、各単組から派遣された参加者の一覧である。（ただし、1人で複数回参加した人もある。）

なお、豊中市教組は、豊中市の学校そのものが避難所となったため、全ての組合員が各校でボランティアとして、また教職員として教育復興に参加した。

池田

西村猛(池田小) 小林弘典(北豊島小) 大上一枝(北豊島小) 上松俊一郎(北豊島中) 斎藤敏章(北豊島中) 岩城良平(北豊島中) 栢木修(細河中) 太田静賀(秦野小) 南橋芳子(秦野小) 九次米純子(五月丘小) 多治美友朋(五月丘小) 西義史(五月丘小) 中津信行(渋谷中) 野本理隆(渋谷中) 多田浩康(渋谷中) 谷田真知子(細河小) 上田よしみ(細河小) 西村章(細河小) 山本有美子(神田小) 山口直子(池田中) 宗寿栄(池田中) 平野敬子(緑丘小) 福本美恵子(緑丘小) 南部明美(伏尾台幼) 嶋美耶子(伏尾台幼) 平岡博幸(緑丘小)

箕面

前田健(萱野小) 新居三千子(萱野小) 木下公子(萱野小) 川上加津子(萱野小) 野本淳子(萱野小) 杉橋克己(豊南小) 奥田勝久(豊南小) 横岩直子(豊南小) 森永修二(豊南小) 潮田明美(豊南小) 蜂須賀のぞみ(箕面小) 山中猛司(箕面小) 山岡真紀(箕面小) 徳丸寿美(西南小) 竹内弘(南小) 河合綾子(南小) 浅利泰(東小)

石井和美(東小) 常行秀年(北小)

里良和(北小) 森村康子(止小) 豊嶋富美枝(止小) 田渕浩昭(一中) 浅井隆志(二中) 岡一夫(二中) 鶴飼孝子(二中) 森田佳代子(二中) 山田佳彦(二中) 上田博(二中) 水野洋子(五中) 端山桂子(六中) 末永純一(六中) 盛影君夫(六中)

豊能

谷安生(光風台小) 舟木裕二(光風台小) 海老名国夫(久佐々小) 宮脇敏徳(久佐々小) 武田善弘(吉川中) 東稔(東中) 福井歩(東中) 原民雄(東ときわ台小) 藤代衛(東ときわ台小) 福中満(歌垣小) 古谷知一(歌垣小) 菅沼一雄(田尻小) 石川邦子(田尻小) 松風光(岐尼小) 畑賢三(岐尼小) 元古幸恵(岐尼小) 平尾悦子(東能勢小) 泉由子(吉川中) 下林晃(吉川中) 草野洋和(東郷小) 辻信義(西中) 北井靖彦(西中) 丸山卓郎(天王小) 米田哲夫(天王小) 越智輝雄(高山小)

高槻

吉見信彦(第一中) 加藤正寛(第二中) 広田信夫(第三中) 寺本正

行(第四中) 高木恒男(第六中)

小野忠夫(第六中) 垣内明夫(第七中) 畑中宏子(第七中) 大木重一(第八中) 松原孝夫(第九中) 大山正雄(第十中) 宮崎晋(第十中) 藤本恵子(第十中) 田中尚(柳川中) 高見竜司(五領中) 稲垣伸一(五領中) 喜田由佳子(冠中) 金築しげよ(冠中) 森幸子(冠中) 吉田三太(阿武山中) 渡辺洋子(芥川小) 林智恵(磐手小) 山本光子(清水小) 坂井廣子(如是小) 清水文子(如是小) 大仲由香子(阿武野小) 佐々木成子(阿武野小) 真下宏恵(五領小) 金尾光三(五領小) 竹村裕史(五領小) 新谷拓也(五領小) 井原とも子(桃園小) 小柳操(三ヶ牧小) 山根保恵(川西小) 三木正博(富田小) 桑原綾(富田小) 岩崎律雄(富田小) 藤本政信(富田小) 尾方義雄(豊田小) 寒川政嗣(豊田小) 王村富次(豊田小) 今門定子(大冠小) 四十万玲子(大冠小) 田畑睦子(大冠小) 福井茂樹(南大冠小) 中村宗男(柳川小) 田中道男(桜台小) 大石博子(芝生小) 田中俊行(日吉台小) 森本紀美代(日吉台小) 植村美栄子(西大冠小) 達見理恵子(西大冠小) 八尾

千枝(西大冠小) 久保田芳宣(西大冠小) 犬塚充子(西大冠小) 松田正夫(玉川小) 山下美抄子(上牧小) 杉谷美和子(上牧小) 飯塚邦子(上牧小) 山本公子(北清水小) 泉理恵子(赤大路小) 高橋範子(赤大路小) 鈴木数幸(赤大路小) 西田さい子(赤大路小) 山根涼子(赤大路小) 山田久美子(赤大路小) 島田陽二(赤大路小) 立花佳子(赤大路小) 西家和代(赤大路小) 河本静夫(冠小) 福家久隆(桂本小) 片岡ふみ子(郡家小) 梶島伊和穂(郡家小) 土居光廣(寿栄小) 中瀬俊介(市立養護)

湯山英清(市立養護) 珠数純子(竹の内小) 鷹津延江(竹の内小) 岡啓子(竹の内小) 吉田昭(五百住小) 勘田和子(堤小) 東山二郎(丸橋小) 李明(松原小) 田村嘉奈子(安岡寺小) 谷美弥子(安岡寺小) 奥村すみ子(若松小) 野口志枝子(庄所小) 中山義憲(牧田小) 水上優依(真上小) 井出文恵(真上小) 藤井俊司(南平台小) 岩城ひろみ(南平台小) 阪下照美(北日吉台小) 大野芳子(北日吉台小) 山口和枝(阿武山小) 高木隆明(八中) 福岡基(桂本小) 山本陽一(市立養護) 山内みどり

(赤大路小) 倉田憲一(富田小)
金築明夫(九中) 四十万隆(富田小)

茨木三島

石川洋一(豊川小) 武田尚之(天王小) 森田義昭(中条小) 松井真実子(中条小) 川崎勝巳(東奈良小) 清原玲子(葦原小) 加藤健治(葦原小) 大藪浩(葦原小) 野田正章(春日小) 小池広治(春日小) 正下敏雄(穂積小) 柳純男(穂積小) 大藤哲郎(西小) 糸田美由紀(沢池小) 西村忠彦(西陵小) 花岡久子(玉島小) 早見照子(畑田小) 十川周司(畑田小) 梶原啓三(白川小) 中前明男(白川小) 侯野哲夫(安威小) 柳川記成(忍頂寺小) 西英明(忍頂寺小) 大西美知世(忍頂寺小) 山下雅光(郡小) 広清昇(山手台小) 藤井一臣(庄栄小) 中西幸男(太田小) 福田麻美子(東小) 藤原弘之(茨木小) 百田由美子(茨木小) 仁頃洋子(水尾小) 田中明子(豊川中) 岸本清(北中) 平尾政則(平田中) 赤井文明(東中) 北野英子(書記局) 宮里健三(玉島小)

摂津

白井正樹(千里丘小) 山岸吉夫(三宅小) 山崎智恵美(三宅小) 福田美知子(三宅小) 伊藤佳弘(味舌小) 辻本しず子(味舌小) 福田喜美子(味舌小) 池田隆行(味舌小) 高科景子(味舌小) 内田和代(味舌小) 菅井秀子(味生小) 詫間くに子(味生小) 辻本昌彦(味生小) 井上ひとみ(味生小) 朝倉義隆(味生小) 古田憲子(味生小) 田中節子(味生小) 初井孝子(味生小) 島寄仁恵(鳥飼小) 河井達巳(鳥飼小) 西村久子(摂津小) 福井正敏(別府小) 石川正三(別府小) 高橋敏美(別府小) 林正彦(別府小) 渡辺京子(味舌東小) 江見和枝(味舌東小) 小椋利夫(味舌東小) 風逸策(味舌東小) 大路守(味舌東小) 加藤由紀子(鳥飼西小) 村田国翁(鳥飼西小) 山口進(鳥飼西小) 石倉薫(鳥飼西小) 左古小百合(鳥飼西小) 横川万寿美(鳥飼西小) 渡辺隆(柳田小) 粟島伸介(柳田小) 北橋進(鳥飼北小) 福井恵子(鳥飼北小) 天野雅美(鳥飼東小) 寺田友子(鳥飼東小) 小川誠(鳥飼東小) 大熊隆文(二中) 勝真理子(鳥飼東小) 中村光次(一中) 林子(一中) 江川幸江(一中) 大

熊隆文(二中) 中村隆茂(二中) 川野靖博(二中) 筒井豊(二中) 安木恵(二中) 相可文代(二中) 浦上富喜子(二中) 藤田佐知子(三中) 奥野暁英(三中) 大賀宗孝(四中) 加藤邦泰(四中) 久保有(四中) 西山礼司(五中) 小林耕司(五中) 伊藤克子(五中) 柳瀬育子(五中) 佐藤正幸(五中) 北野早知子(書記局)

吹田

寺島正(青山台小) 森本英之(山田中) 岡山素子(豊津第一小) 吉田啓一(吹田第二中) 中島光子(桃山台小) 久木春次(山田第二小) 伊藤一穂(山田第二小) 榎本千鶴代(東佐井寺小) 川向陽一朗(山田第二小) 矢島実(吹田第三小) 加藤ちえ子(山田第一小) 早崎博子(山田第二小) 浅野龍夫(高野台小) 大沢行敏(竹見台小) 柴田千世(東佐井寺小) 溝口千鶴(佐井寺中) 窪田興哉(佐井寺中) 山本知明(山田第一小) 池田裕美(山田第一小) 湯井幸恵(豊津第一小) 平林和男(竹見台小) 大(吹田第六中) 奥村真弓(津雲台小) 宮城洋(豊津中) 梶谷尚義(岸部第一小) 星野好史(古江台

小) 奥山洋子(竹見台小) 岩井博子(高野台小) 堀井直子(吹田第六小) 森一人(岸部第一小) 吉田恭子(竹見台中) 大久保定(青山台中) 増谷和子(南千里中) 延地和子(豊津西中) 黒谷聡(山田第一小) 清水浩一郎(山田第一小) 前川公男(千里第一小) 岩田篤志(東佐井寺小) 垣内泉美(岸部第一小) 岩田勝(千里第二小) 安田大和(竹見台小) 永野明子(吹田第二中) 葛尾高明(岸部第一小) 山下俊春(豊津中) 横山京子(南竹見台小) 松下雅代(岸部第二小) 植田桂子(山田第一小) 戎谷久美子(豊津第一小) 下村研司(山手小) 竹田伸一郎(江坂大池小) 伊東利幸(佐竹台小) 伊東町子(山田第一小) 岩田春子(東佐井寺小) 辻雅義(岸部第一小) 久保博彦(岸部第二小) 柏谷靖子(豊津西中) 伊東利幸(佐竹台小)

守口

炭屋勝久(藤田小) 矢倉重明(下島小) 富嶋修(守口小) 中村和人(大久保中) 多賀芳浩(大久保中) 坂東實(藤田小) 木村貞政(大久保中) 森野修(養護学校) 上田博紀(土居小) 川端博幸(大久保中)

長池吉澄（藤田中）野村千代子（藤田小）古賀ルリ子（金田小）田中常雄（第二中）廣部孝徳（第四中）寺村寿一（梶中）中島善昭（錦中）宮本雅之（梶中）坂口佳代子（藤田小）増田清志（下島小）竹田晴彦（第三中）小川譲（第三中）北田恵子（橋波小）藤井章史（錦中）大原正義（大久保中）芦原浩二（八雲小）田浦誠二（佐太小）前澤幸子（藤田中）脇本ちよみ（金田小）立野明（藤田中）淵田順子（庭窪中）小泉尊身（守口小）岩佐美奈子（南小）中川洋一（三郷小）八尾田維久子（庭窪小）西村孝子（梶小）朝比奈隆（庭窪中）張健次（三中夜間）

寢屋川

小橋達男（四中）南部清孝（二中）沢田邦昭（書記）南森康彦（明和小）辻孝治（明和小）近藤誠志（明和小）麻田久子（池田小）柳久子（東小）阪本百合（東小）鮫島裕美子（東小）村上陽子（東小）元治裕美（中央小）岡村芳（成美小）半辺博之（明和小）岡本雅嗣（明和小）久保田陽子（東小）

枚方

西岡忠彦（北牧野小）大國弘（西牧野小）藤田佳久（西牧野小）左近洋二（香里小）奥山学（津田小）高木隆弥（津田小）藤井美鈴（津田小）桜木誠子（津田小）高橋真理子（津田小）伊丹徹（津田小）関志保子（津田小）児島昌雄（中宮小）荒木幹夫（中宮小）水口佳男（中宮小）多田和彦（船橋小）中谷芳郎（船橋小）掛上俊一（招提小）沖増久美子（招提小）上野明美（招提小）五味久美（招提小）宮島紅美（招提小）山本洋子（香陽小）太田邦雄（平野小）中瀬則子（山之上小）舟山美恵子（山之上小）朽見誠二（山之上小）十河知己（山之上小）久保佐和子（中宮北小）岡本博史（東香里小）二宮佳史（東香里小）川嶋佳彦（東香里小）桃山宏美（田口山小）大野征之（樟葉北小）三井敏子（樟葉南小）竹部幸裕（樟葉南小）石川修三（山田小）向井敏子（山田小）多田羅伸一（蹉跎西小）林元隆司（蹉跎西小）宮沢均（村野小）斧原一朗（蹉跎西小）左合ほなみ（蹉跎西小）堤高穂（菅原小）能口卓子（菅原東小）堤卓雄（菅原東小）有野克行（交北小）藤田幸代（平野小）若園博輔（春日小）

久保泰雄（春日小）米田麻里（春日小）開田美子（春日小）関昭人（春日小）塩野祐子（枚方第二小）井上英則（高陵小）森義彦（高陵小）海老池均（招提北中）野嶋大作（長尾西中）藤井光子（長尾西中）竈瀬肇（津田中）小泉和彦（津田中）兼子陽子（第三中）石塚弘人（第四中）溝口彰（第四中）松本房雄（第四中）辻本広之進（第四中）新好孝（東香里中）尾崎晃（樟葉西中）多田浩（杉中）宮西信幸（杉中）福島功（蹉跎中）松宮裕一（教文センター）磯野雅治（招提北中）

大東

林茂蔵（南郷中）宮野榮幸（北条小）渡部尚明（深野小）荻原幸子（四条南小）榊田鈴子（四条南小）梅田義治（氷野小）矢代洋子（四条南小）多田眞理子（北条小）福本弘（四条小）松本裕行（住道南小）藤野博史（四条南小）弥崎知子（住道南小）宇野木邦治（四条小）西中恭子（四条小）岩崎泰司（四条中）内海芳夫（四条小）山田友江（四条小）山下廣明（灰塚小）林博樹（四条南小）樋口嘉和（深野小）

門真

松井憲一（上野口小）早崎元彦（北巢本小）島田茂樹（大和田小）阪上周一郎（水島小）柳原謙二（沖小）桐山美知雄（三中）徳田秀彰（速見小）杉田眞理子（速見小）米村時代（二島小）小澤真一（中央小）濱田博美（上野口小）成田明子（五中）大村五郎（古川橋小）岩出洋（北巢本小）中元武利（北小）木下知子（北巢本小）井上あゆみ（上野口小）丸山早苗（上野口小）久保正敏（浜町小）平尾なほ子（門真小）宮崎稔（浜町小）市川登（三中）橋本要（五月田小）大西孝治（南小）北山哲也（二中）高橋文久（北小）畠中かおり（水島小）北橋久和（東小）土田孝子（一中）荒木郁夫（水島小）平野みつよ（四宮小）赤司敏紀（脇田小）濱田完治（門真小）小林和彦（大和田小）大来田実（大和田小）高橋久美子（速見小）岩谷栄美（大和田小）小林文子（水島小）坂田英夫（門真小）寺下正樹（上野口小）中西毅（水島小）吉田幸平（東小）松井順子（中央小）矢崎万里子（浜町小）小林妙恵子（沖小）幸緑（沖小）楠谷愛子（四宮小）

四條畷

良圭司（西中）向井京子（南中）
市川貴代子（東小）

交野

野崎雅之（旭小）長尾忠之（旭小）
久保田黎明（星田小）津田慶子
（三中）小林正明（四中）

東大阪

三浦孝介（長栄中夜間）林二郎
（長栄中夜間）三木久義（長栄中
夜間）上田克子（長栄中夜間）西
尾禎章（長栄中夜間）東村幸子
（長栄中夜間）千葉修一（弥刀小）
古田之男（盾津中）桑原康仁（盾
津中）國部俊彦（上四条小）重松
克教（金岡中）野口博（柏田小）
下村八重子（柏田小）上西孝久
（意岐部東小）谷口修（縄手北小）
松原康之（意岐部東小）合田創
（意岐部東小）松田智（玉川小）
菊田泰司（玉串小）白江一男（鴻
池東小）吹田栄二（孔舎衛中）中
野恵美子（岩田西小）吉田豊治
（岩田西小）矢野裕子（岩田西小）
西村英俊（長栄中）田中京子（長
栄中）大髭学（楠根中）山崎文夫
（若江中）齊藤学（八戸の里東小）
中山右（長堂小）藤本勢二（長堂

小）田中幸一（荒川小）多井中慶
司（荒川小）増井小夜子（荒川小）
増田俊昭（荒川小）札本優子（意
岐部小）久我周夫（意岐部小）岡
田裕介（新喜多中）田中修（英田
南小）河野勝彦（柏田中）村尾良
政（枚岡西小）松田一雄（枚岡西
小）吉本充（上小阪小）久田里正
行（菱屋西小）木村光徳（八重の
里小）嶋田義剛（小阪中）河崎美
保子（小阪中）永島和郎（日新高・
定）河原和之（盾津東中）阪本敏
子（若江小）遠山由美（上小阪中）
福井啓仁（永和小）松田小夜子
（楠根東小）多田恵（高井田中）
窪田朋子（大蓬小）西口健司（長
瀬北小）小畑憲（長瀬北小）朴伸
矢（民族講師ほか）田中寛治（民
族講師ほか）岡野蔦子（民族講師
ほか）

八尾

土田紀康（高安中）川野勇（竹湊
小）前田稔（龍華小）平野治（桂
小）渡辺啓文（桂中）大畑裕資
（桂小）阪田弘（安中小）高木紀
明（桂小）岩下順一（高美南小）
茂木伸介（桂中）浜谷優子（八尾
小）上出仁美（大正小）平尾功司
（中高安小）中迫和代（東山本小）

今谷誠樹（高美中）大東清孝（桂
中）横川一敏（桂中）為房佳祐
（八尾小）小桜満香（上之島小）
橘和明（西山本小）磯島秀美（安
中小）福家美代子（桂小）阿部文
（桂中）古川紀子（上之島小）野
口康子（桂中）磯島秀樹（高美小）
宮井和久（高美中）石崎悦子（高
美南小）尾上和次（桂小）金丸泰
子（高美南小）速井芳子（桂小）
伊賀元子（八尾小）田中秀樹（桂
中）荒磯代志子（曙川南中）葭中
勝義（曙川南中）趙顕吉（桂中）
植田千恵（高美南小）梁優子（高
美南小）阿部和子（高美南小）森
田勝之（高美中）土居徳生（市立
養護）佐野加奈（山本小）山中淳
子（南高中）岸本成生（長池小）
金川元信（長池小）

松原

的場広旨（三中）松島利彦（三中）
糸井川孝之（三中）広森眞一（三
中）杉本順子（三中）三田宣充
（四中）霧口秀雄（二中）片岡信
行（七中）池上英明（布小）桐原
健児（布小）稲井理恵（布小）高
見優二（中央）三宅道子（中央）
星野稔（天西）富森和男（天北）
矢野智史（松東）森本弘樹（河合）

松岡ユリ子（河合）絹笠史恵（天
小）田村博志（天南）花沢光正
（三中）

南河内

田中工（彼方小）武田達也（埴生
小）谷知英樹（埴生小）大島崇義
（埴生小）岩光公（埴生小）田中
勝雄（美加の台小）上田武（狭山
東小）斎藤一馬（狭山南二小）高
橋勝代（楠小）滝口義人（天野小）
松川信一（古市南小）谷口孝（高
辺小）南部章太郎（高鷺小）高木
正三（新堂小）藤井満寿美（新堂
小）門田憲仁（美原西中）坂東司
朗（富田林一中）森川康祐（富田
林一中）羽山彰（藤井寺中）三木
英宏（高鷺南中）森本真代（長野
中）竹内龍男（羽曳野中）佐藤信
之（羽曳野中）北村敦士（藤井寺
三中）

堺

川井俊治（金岡南中）巽健（中百
舌島中）高橋正明（市立第二商業
高校）小笹雅章（久世小）富田恵
子（浜寺石津小）水木幸男（堺同
研）松久哲也（金岡北中）三田恭
子（浜寺南中）高野和幸（殿馬場
中夜間）

泉北

平松清司(信太小) 柏木治(幸小)
柚木健吉(清高小) 羽田一美(鶴
南小) 横尾尚子(南池田中) 桃幸
夫(富秋中) 八木稔(富秋中) 田
井中亮(富秋中) 檜崎陽一(富秋
中)

泉佐野

田中治朗(長南小) 安野勝美(新
池中) 北野久美子(佐野中) 橋本
正二郎(長南中) 高橋進(市教委)
宮本純子(市教委) 阪本光司(泉
佐野中)

貝塚

今津宏三(東小) 霧さち(東小)
高見康裕(東小) 大平実涼(東小)
大西理可(東小) 坂本之子(東小)
加治靖子(東小) 吉清勝弘(中央
小) 古坂恵子(中央小) 高橋恵美
代(中央小) 葛城安秀(葛城小)
貴志清一(葛城小) 富田高弘(北
小) 藤田英明(西小) 浦川英明
(南小) 山本康志(二色小) 金井
健一(木島小) 山本邦彦(一中)
久納正誠(一中) 家崎幹雄(一中)
重信陽子(一中) 田辺一幸(三中)
根来靖(四中) 寺田攝(三中)

泉南郡市

河野敬重(鳴二小) 麻生典子(鳴
一小) 浜口定子(多奈川小) 中筋
典宏(鳥取東中) 崎山悦子(鳴一
小) 川崎亀八(信達中)

市教組

安井章子(高松小) 安達優(瓜破
西小) 伊藤賢司(矢田南中) 伊藤
眞嗣(平野北中) 井原高志(高松
小) 井口妙子(平野小) 井上泰雄
(長吉六反中) 稲田博明(天王寺
夜間中) 臼井淳(西淡路小) 益原
直樹(山之内小) 園田寛一(加美
南部小) 奥田祐仁(矢田小) 奥田
良三(北稜中) 岡崎富美子(佃西
小) 岡田栄子(加美東小) 岡田公
人(矢田南中) 岡本光夫(住吉小)
岡本修(南港緑小) 岡本丞史(長
橋小) 岡野功(鶴橋中) 岡律子
(宮原小) 乙武伸一(城北小) 温
品幸子(此花中) 加藤昭弘(丸山
小) 加来千佳美(梅香小) 河原健
一(淡路中) 河原由香(新生野中)
河野浩(井高野中) 角川峯子(梅
香小) 榎根剛(東部学校事務セン
ター) 梶本聡(住吉小) 丸山敏夫
(鶴見橋中) 丸山雄平(高殿小)
丸山和人(木津中) 岸本康介(西
淡路小) 岩佐雄二(住之江小) 岩

崎融見(梅香中) 岩出悟(依羅小)
岩田兼太郎(住吉小) 岩寄恵子
(西島小) 寄隆一(我孫子中) 紀
戸心身(晴明丘小) 吉岡正人(依
羅小) 吉川玲子(田島中) 吉村健
(本田小) 吉村弘道(西部学校事
務センター) 吉村忠(東桃谷小)
吉田恭子(長吉小) 吉田経子(清
水小) 吉田孝(長橋小) 吉田小恵
子(中野中) 吉田昌子(矢田南中)
吉田豊(依羅小) 吉田民之(長谷
川小) 吉野かほり(東三国小) 吉
野妙子(鳥屋小) 久山裕二(北部
学校事務センター) 久多里良一
(大領小) 宮崎新吾(淡路中) 宮
本土詩(今川小) 弓削博司(北恩
加島小) 許斐司(北鶴橋小) 橋口
哲(横堤小) 橋本宗宏(城北小)
橋本道子(大領中) 橋本和也(美
津島中) 近藤義之(巽東小) 近藤
吉正(長吉小) 近藤薫(東我孫子
中) 金山真里子(市岡小) 金長富
士夫(北部学校事務センター) 隅
貴寛(大桐小) 窪田守(我孫子中)
窪和信(南部学校事務センター)
栗田潔(清水小) 栗田珠美(住之
江中) 栗林紀久子(今川小) 古口
隆英(高松小) 後藤大輔(精華小)
弘元介(栄小) 荒井成夫(長橋小)
高井千彰(金塚小) 高久裕次(木
津中) 高原陽子(新巽中) 高津繁
俊(佃西小) 高田一夫(南部学校
事務センター) 高尾祐彦(依羅小)
根井哲生(今川小) 紺屋良一(佃
西小) 佐藤郁代(平野小) 佐藤嘉
郎(墨江小) 佐藤晃一(高津小)
佐藤正己(長吉南小) 佐藤典且
(中大江小) 坂元泰博(平野小)
坂上昌宏(淡路中) 坂本徳幸(住
吉中) 阪田純治(住之江小) 阪本
憲次(生江小) 三浦明子(天王寺
夜間中) 三好充子(天下茶屋中)
山下征一郎(住吉小) 山下和寿
(矢田南中) 山口修一(西部学校
事務センター) 山口直子(淡路小)
山口博功(住吉中) 山口優(淡路
中) 山口裕二(矢田東小) 山崎一
人(西淡路小) 山崎初枝(南住吉
小) 山中幸子(瓜破小) 山田健一
(生野南小) 山本雅子(大隅東小)
山本昌良(旭陽中) 山本静子(鯉
江東小) 山本壮峰(東都島小) 山
野誠二(加島小) 四宮靖生(此花
工業高) 志智昭(旭東中) 志磨逸
子(喜連中) 枝元哲(大宮小) 糸
川恵子(矢田西小) 寺田正治(中
島中) 寺澤亘(加美東小) 柴野希
史子(北津守小) 守野喜代志(長
橋小) 手塚茂(宮原中) 酒井聖
(都島中) 酒井博文(住吉小) 小

井戸裕子（長吉六反小）小笠原秀俊（加島小）小関啓方（長橋小）小寺山三左子（鶴見橋中）小畑達男（美津島中）小野常夫（住吉小）小野川和孝（加美東小）小林拾子（書記局）小澤茂（加島小）松下貴代子（加美東小）松山道久（都島工業高）松村喜美子（淡路小）松田恭子（生野南小）松田朋人（旭東中）松尾博之（瓜破西小）松尾美門（松之宮小）松本悦治（木津中）松本勇二郎（住吉小）上松孝男（住吉小）上津徹哉（鶴橋中）城谷昌宏（聖賢小）森岡美貴（大東小）森恵利（上福島小）森尚（下福島中）森生道久（生江小）森田吉彦（三軒家東小）森田昭彦（平尾小）森田和夫（北津守小）森本佳子（大和田小）真鍋美恵（住吉小）仁木正（矢田南中）須藤法子（住吉中）水上紀代美（生野南小）菅原公一（加美南部小）清水尚子（豊崎中）西田満寿代（四貫島小）西木恭子（大宮小）西野安信（塚本小）西羅勝治（新生野中）石原常年（平野小）石原礼子（美津島中）石原廣志（野田中）石川高司（東淡路小）石川奈都子（東淡路小）石川博美（東淡路小）石川和子（西三国小）石本

浩一（榎並小）赤銅久和（栄小）川原博行（大東小）川崎悦子（加島小）川崎純代（生江小）川端美知子（南住吉小）川田雅彦（平野北中）川島一郎（加美小）川又健一（西部学校事務センター）船越みぎわ（天王寺夜間中）錢本郁世（大宮小）倉田昌広（城陽中）増井恵一（東我孫子中）増田純一（下新庄小）増田新（西九条小）足立須香（今里小）足立任（大宮中）村濱容子（大宮小）台美智恵（淡路中）大越正吾（大宮中）大橋弘和（淡路中）大寺美也子（都島中）大西一郎（西島小）大西正宏（梅香小）大西智子（榎本小）大西洋子（高殿小）大谷憲央（長吉東小）大竹道雄（榎並小）大槻明弘（林寺小）大東政幸（矢田小）大方智子（長橋小）大淵尚巳（放出中）辰野仁美（依羅小）谷口義廣（長橋小）谷水隆清（都島工業高）谷川昭（矢田小）炭谷眞（此花中）池内広幸（木津中）中崎欽旦（天王寺夜間中）中山周美（上福島小）中松健一（住吉小）中川安広（生江小）中川雅保（啓発小）中川浩司（城北小）中川修（梅香中）中村涼子（大和田小）中辻敏春（長吉小）中登真紀子（大正西

中）中島理隆（住之江小）中本真喜子（市教組城北支部）中野雅彦（宮原中）中野修二（長吉中）仲西敏（鯉江中）仲村昇（田中小）長岡由記（鷹合小）長山多津美（生江小）辻岡有香子（住吉小）坪井允克（菅南中）坪井勝彦（美津島中）壺井宏（鯉江中）鶴谷典彦（喜連西小）鶴保良三（東部学校事務センター）天野日出男（淀川小）田崎正幸（長橋小）田村孝（宮原中）田中一郎（太子橋小）田中恵子（港支部）田中佐代子（生野南小）田中順子（加美東小）田中稔（長吉東小）田畑妙子（平野中）田明男（都島小）渡辺祥生（生江小）渡辺誠次（中島中）土井雅子（西部学校事務センター）嶋絹代（島屋小）嶋村有子（啓発小）嶋田博（長橋小）嶋田邦子（西九条小）嶋野貞夫（西九条小）東野聡（生江小）筒井元子（長橋小）藤岡義行（高殿小）藤原孝（大宮中）藤原裕文（榎並小）藤谷悦子（鶴橋中）藤谷卓志（我孫子中）藤田修（松之宮小）藤田隆男（新巽中）洞井金桂（平野西小）道浦久江（住之江中）徳宮昇（鶴見橋中）徳庄博美（董中）那須清志（矢田西小）内部敏裕（大和田

小）楠一之（長橋小）二階堂功（天王寺夜間中）能勢知幸（西淡路中）馬淵恭子（茨田中）梅屋陽子（住吉小）梅木京子（旭東中）楳川ちはる（今川小）萩谷博司（東部学校事務センター）白川洋二（波除小）白土清治（長橋小）薄井謙一（東部学校事務センター）麦野順子（長吉出戸小）畑勝美（北津守小）八島雅夫（東生野中）八木浩一（阿倍野中）樋口隆昭（鯉江中）稗田智（住吉小）菱田準子（淡路中）俵正典（西九条小）浜崎展（加島小）富田佳代（茨田南小）浮田茂（鶴橋中）武部徹（平野小）風間寛（長吉小）服部裕之（住吉小）福井京子（大領中）福家以知子（森之宮小）福田康宏（太子橋小）福田将臣（南田辺小）福島信也（蒲生中）平井峯子（塩草小）平山行一（聖賢小）平田年弥（加島小）平田和也（鯉江東小）平尾恵子（天王寺夜間中）米谷敬一（松之宮小）米田ちえ子（西島小）米澤みのり（新北野中）法蔵美智子（生野小）坊岡弘子（啓発小）北口保子（加島小）北村満夫（敷津浦丘小）北村洋美（緑中）北田育代（住之江小）牧野文彦（田島中）堀口眞也（矢田中）堀

尾聰昭（北稜中）堀本仁（加美北小）茂木文子（天下茶屋中）木下歩美（西部学校事務センター）木原淑江（新北野中）木戸良樹（東部学校事務センター）木村修一（天王寺夜間中）門内俊之（瓜破小）野村好徳（住吉小）矢野ヒロミ（東南支部）矢野久雄（大桐中）柳川知子（上福島小）要田秀雄（大領小）立花善子（本田小）立花敏彦（塚本小）立石登（啓発小）林幸男（都島小）鈴川利美（高殿小）鈴木康子（生野小）鈴木知英子（加美小）六反順子（平野北中）和田豊（北恩加島小）廣田稔（宮原中）櫻井佳代（瓜破東小）櫻井康延（敷津浦小）澤田智大（清水小）濱田良博（北津守小）萬代正人（住吉小）

高教組

西脇豊（八尾南）長澤裕（北千里）林茂樹（本部）山下勉（島上大冠）北浦博美（富田林（定））椎口育郎（桜塚（定））薬師寺素子（春日丘（定））天野治男（春日丘（定））辻幸二郎（八尾）妻木靖朗（泉鳥取）小林伸一（泉鳥取）西田誠久（西成）三輪真嗣（柴島）大島弘明（箕面）隅田康子（北千

里）藤森新子（北千里）西口勝正（淀工（定））鵜飼勤（西成）森明啓（本部）中島章子（東豊中）谷博（桃谷）奥河圭一（河南）北出憲一（貝塚（隔））桧本良之（松原）三上弘志（本部）岡崎節子（大冠）若林伸治（大冠）山下知延（東淀川）植田和平（東淀川）安達義博（東淀川）宮井千代（枚方）中邨徹（枚方）佐谷力（松原）川勝恒治（西野田工（定））池嶋正和（松原）鍛治明広（北野）玉本英明（茨木西）小田耕嗣（枚方）松林理明（箕面）藤岡郁子（野崎）浅野真（河南）和田充弘（河南）塩川博（金剛）中尾忠史（岸産）二反田真人（岸産）藤川昌通（堺上）木村伸司（大塚）横井幸雄（布工（定））原野吉秀（佐野工（定））谷茂夫（佐野工（定））時藤知之（佐野工（定））藤下功一（茨木西）床田英明（春日丘（定））松嶋恒夫（春日丘（定））寺内孝（春日丘（定））安井広（桜塚（定））中村三郎（住吉）岩城俊雄（池田）原須美子（泉南）川口俊成（大冠）高辻道久（阿倍野）勝部尚子（長尾）岸清和（枚方西）信達久美子（貝南）三木久巳（貝塚南）場野哲夫（枚方西）中島三智子（阿倍

野）小林靖幸（阿武野）奈良賢一（阿倍野）大賀喜子（四條畷）大坪義男（桃谷）菱田俊浩（貝塚南）杉政唯実（北千里）高野朗（北千里）宮本良香（北千里）西田早智子（花園）辻卓二郎（八尾）山口裕子（松原）富井平（学生）前田卓夫（西野田工（定））富田幸子（高槻南）佐藤邦彦（桜塚（定））勝部尚子（長尾）岡崎節子（大冠）岡山茂彦（寝屋川（定））西矢大亮（学生）西田ミワ（学生）近藤恒雄（豊中）村瀬峰子（大冠）大原一浩（松原）八木良治（野崎）宮本茂（堺工高（定））菅野謙二（松原）檜本直之（松原）立間節子（本部）成山哲生（松原）峯雅彦（今工（定））牧野統治（松原）浅井邦一（島上）牟田口映二（三島）北浦博美（富田林（定））清水俊史（西野田（定））大沢真美（春日丘（定））滝本勝代（布施（定））富井恭二（春日丘（定））間一孝（城山）西村秀洋（城山）小池一文（泉大津）毛藤佳宏（泉鳥取）木谷紀彦（泉鳥取）開本昌子（農（芸））山下更紗（学生）河田隆史（芥川）松田智恵（久米田）百崎大次（芥川）角泰三（堺工（定））久野勲（堺工（定））三

浦孝明（芥川）稲岡美奈子（金岡）藤本篤（福井）中西宏次（芥川）三船誠一（港）植田純輔（松原）三原愛菜（学生）大門雅人（和泉（定））西田早智子（花園）広岡勇人（花園）松田智恵（久米田）岸清和（枚方西）角田茂良（島本）和田良彦（松原）田辺考司（佐野工・定）石田精三（松原）加納明彦（松原）吉村和彦（布施北）佐藤春紀（西野田工）川井明（福井）枘田佳彦（福井）岡田勇一（福井）森田正良（福井）藤原秀彦（福井）村瀬正則（福井）江菅洋一（布施工（定））森下俊彦（少路）

「その時」を どう伝えたか。

- 豊中市教職員組合情報
- 二年学年だより・どんどん2
- 大阪教組ニュース・緊急号外
- ヒラカタ
- 羽中分会ニュース
- 八尾教育速報
- 大阪市教組
- 学級通信ウルトラC
- 大阪高教組94号
- 日教済大阪支部NEWS
- さかい教職員組合ニュース
- 速報白ボク号外
- じしん新聞
- 守口教育
- 教育能勢
- 松原3中・生徒会新聞

跡メツ大きな地震南部兵庫

阪神地区を、豊中を、組合員を直撃！

豊中市に災害 救助法が適用

緊急被害調査・救援方へに総力を

十七日早朝襲った、かつて経験したことがない揺れは、阪神地域を直撃、未曾有の被害をもたらしました。同時に、豊中市内でも、報道はされていませんが多くの被害が出ています。

緊急に指示した分会調査では、市内の多くの学校で、校舎の損壊、受水設備の破損、水道、トイレの使用不能、窓ガラスの破損、渡り廊下の亀裂等が報告されています。また、各校へ避難されている方の総数は三二五名を数え、市内では、全壊一三戸、半壊七九戸に達しています。

豊中教組では、地震発生後、被害を受けた書記局をかたずけたあと、ただちに阪神地区在住者の安否確認と被災調査を開始、電話等通信手段が混乱している中、全体の被災状況の把握に全力を上げてきました。

確認が進むにつれ、予想を超える被害の大きさが明らかとなってきました。亡くなられた方、家族を失われた方、怪我をされた方、家屋を失われた方、今なお、避難生

活を余儀なくされている方、友人・知人の安否を気遣う方等、その数もまたかつて経験したことのないものです。

亡くなられた方のご冥福を祈るとともに、被害を受けられた仲間、心からのお見舞いを申し上げます。

現在、豊中教組は、全組合員に対し「被害状況調査用紙」を配布し、被害の全貌・詳細をつかむ取り組みを継続しています。

日教組は、子どもたちや日教組組合員も多数死傷している事態を受け、近畿ブロックとして、被災した兵庫・大阪の教職員や子どもたちへの緊急救援カンパに取り組みことを決定しました。

さらに執行部は、被災した教職員への万全の配慮と被災した子どもたちおよび市民への十分な対策を強く教育委員会に要請しました。

なお余震が続く、不安は一層高まりますが、混乱を乗り越え、可能な取り組みを執行部・分会一体となつて進めていかなければなりません。力を合わせましょう。

日教済から災害見舞金

今回の震災に対し日教済からは災害救助法適用地域の組合員に対して災害見舞金の支給（一律五千円）を決定、総合共済として住宅災害給付、火災共済の住宅災害給付、団体生命共済や終身共済等の適用をはかります。詳細については厚生委員を通じて連絡します。また、豊中教組としても可能な限り被災した教職員の相談にも応じていきます。

豊中市教職員組合 情報

組合は職場にあり。仲間を増やし民主的な職場を作ろう。

第31号 1995年1月20日

編集発行 豊中市教職員組合

発行責任 崎間 覚

教子たち再び戦場に決闘を



ひょうご けん 南部 地震 ...

いま ぼくたちに できることから!



れんきゅう あさ ゆめ おも 連休明けの朝、夢にも思わなかったことが...

17日の朝には、「先生、怖かったよ」「ガラスもいっぱい 割れたよ」と
ちょっと興奮気味だった子どもたちですが、その日一日中流れる
ニュースを目にし、あまりの悲惨さに驚きとショックの表情は
隠せないようでした。中には、「お父さん、お仕事で神戸に行った
ままなの...」と涙ぐむ子や（幸い、この子のお父さんは、36時間
の飯まず食わずで何とか無事に帰って来られました。）「ぼくの
おばちゃん、家がつぶれてどこにいるか わからないんだって」と
心配する子も少なくありません。そんな状況の中、神戸の
人たちは、おうちも水も食べものもないんだね* *赤ちゃんも
ミルクをのみたいやろナ* *食べものとか ほしいものを届けてあげ
られへんのかな!? *という声も上がりだし、同じ想いを抱いて
いる6年生と協力して動き始めています。詳しくは、後日
お伝えすることになるとと思いますが、ぜひご協力下さいね。

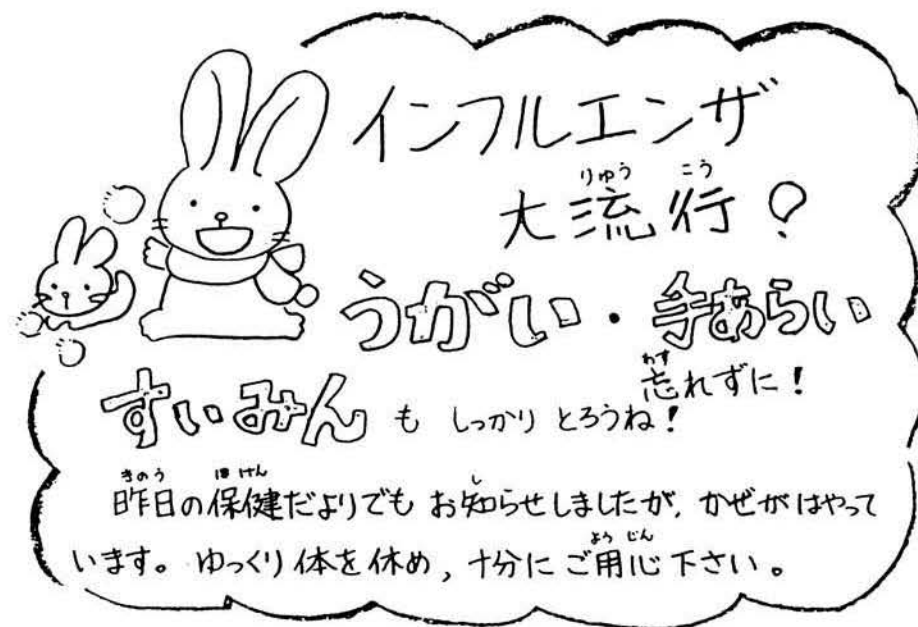
子どもの日記から

こわいこわい大地震

今日、朝早くに地震があった。わたしは弟といっしょにねていた。
そしたら、ゆれた。そして、大きいたんすがガッタンってたおれて、
わたしは目がさめた。そして、もっとゆれて、いろんなものがおち
てきて『もう、したじきになる!』と思ったら、お父さんが来て馬
なっていたすけてくれた。そして、お父さんがお母さんをよんで、
「早く、ここからだしてやれ」と言った。そして、出れた。テレビ
をみて地震のことを聞いたら、「まだまだ地震はつづくかも知れま
せん。」って言った。わたしはこわかった。とってもこわかった。

地震がおきた

今日、地震がおきた。家がすごくゆれた。一回止まった時に下に
おりたら、びんがおちてバラバラにわれていた。だからスリッパを
はいて へやの方にいったみた。もう家の中はめちゃくちゃだった。
ろうかを見たら、かべのはへんがおちていた。何分かしてから、お
じいちゃんが「ふるも めちゃくちゃや」っていった。にわの石
どうろうがくずれた。



きのう 保健だよりでも お知らせしましたが、かぜがはやて
います。ゆっくり体を休め、十分にご用心下さい。

地しん 高はししの

朝おきたら、おかあさんたちが話をしていた。わたしは 何があったのかわからなかった。後からおとうさんたちの話を聞いたら「地しんがあった」と言っていた。おとうさんが、

「タンスのしたじきになりそうやってん」と言った。わたしはほんとかわからなかった。わたしはおとうさんのねていたところに行った。そしたらタンスがたおれていた。わたしは ふくをとらずに 下へいった。下へいったら、本ばこがたおれていた。ガラスもわれてた。

おばあちゃん

地しんのために おばあちゃんの家は、ガスも水どうも出なくなった。早く、わたしの家に来てほしかったけど、電車がとまっていた。21日におばあちゃんがきた。おばあちゃんがきてくれてうれしかった。おばあちゃんは、
「おふろに入れるからうれしい。」
と いうていたよ。

おばあちゃんもしのちゃんのおうちに
来られて、ホッとされたでしょうね。
ヨクもとのようになるといいね。

こおりのじっけん

広べたつや

一月三十日から こおりのじっけんをはじめまし

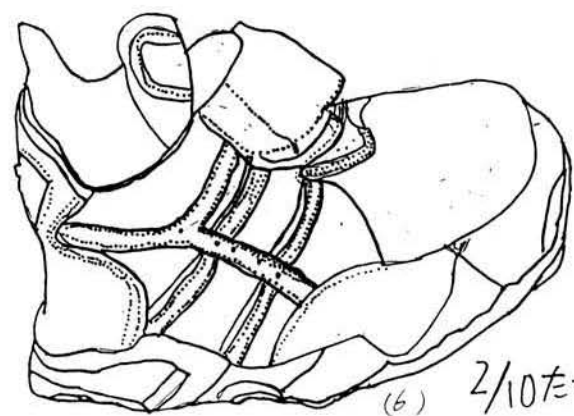
そのつぎに、コップが入っているたなを見たら いっぱいわれていた。おかあさんがガラスをとっていた。おとうさんが、こう茶をつくっていた。わたしは、
「火をつけちゃだめ。」
と言った。おとうさんは
「そばにいてるから。」
と言った。わたしは、
「わかったよ。」
と言った。その後、きがえをした。そして、トイレに行って、上ぐつを手さげに入れた。そのとたん、地しんがきた。おとうさんはわたしをだいた。
その後、だいちゃんがわたしのうちにきた。外へ出て、しゅうこうして学校へいった。

タンスの本ばこがたおれた
ているのを見て、しのちゃん
もびっくりした。おとうさん、
けががなくてよかった。
(5)

地しんのときは、火をけす
ことをしのちゃんは、おし
えていたのね。

た。プリンのカップに水道の水を入れて、ベランダにおきました。ぼくは、ワークスペースの前のベランダにおきました。
つぎの日の朝来てみたら、こおっていました。でも、上のところだけしかこおっていませんでした。「なんでかなう。」と思いました。

「プールもまわりだけほてたよ。」
「まがり池も、半分だけ、ほてた。」
「プリンカップは、上と、まわりからこおたよ。」
じっけんながら、いうんことがふしぎでした。
どうしてかな。しらべてみよう。



(6) 2/10たかり

緊急号外

大阪教組ニュース

発行所＝大阪府教職員組合
(日教組) 〒543 大阪市大
王寺区東高津町7-11大阪府
教育会館4階412号 TEL
06-765-1558 FAX 06-765-
1268 発行責任者＝田川直
編集責任者＝土屋敏明

今回の兵庫県南部地震により被災されました方々に心からお見舞い申し上げます。

がんばる!

17日に起こった兵庫県南部地震は、死者・行方不明5千人をこえる未曾有の大災害となった。各地で児童・生徒、教職員にも多数の犠牲者が出て、学校の倒壊も続出している。この事態に日教組は現地対策本部(戸田恒美本部長・日教組書記次長)を大阪教組に設置、組織の総力を挙げて救援活動を開始している。



高校生のリーダーと一緒に被災者に配る「避難所新聞」をつくる子ども達(21日・兵庫県中央区の市立小野柄小学校職員室で)

兵庫県南部地震

総力で救援へ

日教組現地対策本部、大阪に設置

大阪教組は地震発生直後から、緊急救援物資の輸送にとりくむと共に、組合員の安否や、学校の被害状況を調査するために調査隊を派遣した。

被災状況の調査隊

地震発生から4日目、大阪教組の先遣調査隊として、海路で神戸入りした。市内の惨状はテレビで報道されている以上にひどく、あらためて今回の地震の恐ろしさを痛感した。

「みんなこへんたの」

災害対策本部のある神戸市役所1階に避難している矢倉若葉さん(8)神戸市立トラック2台とワゴン車1台で救援物資を購入した。



田調委員長から救援物資を手渡された。(1月22日)

だろ。

小中学生もボランティア

神戸市中央区の市立小野柄小学校では、分隊長の竹中明先生が、母の電話の応対に追われていた。同小は児童数140人、教職員17人の小さな学校だが、出動できた7人の先生方が、千300人の被災者の救援にあたり、避難している子ども達もボランティアとして活躍、救援物資の配布や、トイレの清掃などに高校生リーダーと一緒に元気に取り組んでいた。

継続した支援を

竹中先生は「お陰様で数

大阪教組から

緊急救援物資

水・食料品など8トン

大阪教組は22日、岩手県教組、鹿児島高教組から寄寄せられた飲料水、野菜など、雨合羽、紙おむつなどの生活必需品合わせて8トンを兵庫県教組に届けた。

謹んで災害のお見舞い申し上げます

日教組では、被災された組合員の皆さんに対して給付等の簡素化迅速化などでお手伝いいたします。又本部職員の見舞いにより兵庫県支部の支援など全力を尽くします。

日教組大阪支部

お問い合わせは、大阪支部 ☎06(768)4910へ

中先生。子ども達が再び勉強できる日まで、教職員が普通の生活を取り戻せる日まで、現在と取り組んでいる緊急救援カンパを成功させることも、第2波、第3波の救援カンパが求められている(20日・神戸発・合田 創(東大阪市教組))

(116)

152
95.1.25

大阪教組ニュース

発行所＝大阪府教職員組合（日教組） 〒543 大阪市天王寺区東高津町7-1 大阪府教育会館4階412号 TEL 06-765-1558 FAX 06-765-1268／発行責任者＝田川直／編集責任者＝土屋敏明

石川一雄氏仮出獄報告集会
日時 2月6日（月）午後6時～
会場 浪速解放会館大ホール
第5次大阪教組事務研究集会
2月3日（金）全体会 2,000名（大阪市教育青年センター）
2月4日（土）分科会 9,000名（大阪府立青少年会館）

1月13日・14日、大阪教組は六甲スカイビルで各単組の委員長・書記長を中心とした冬季セミナーを開催した。

日教組の横山委員長を講師に、「日教組21世紀ビジョン」について学習した後、当面する大阪教組のとりくみの主課題である「学校五日制」について各単組のとりくみ交流会を行った。

各単組とも情宣活動や学習活動を強めているところであるが、各職場論議は3学期が山であることなどが明らかになった。

教育改革という観点からすれば、4月からの隔週五日制実施は、自主編成運動推進のチャンスであり、授業改革、行事改革など学校改革に直結したとりくみが求められている。

交流会では、そのような共通認識に立って、以下の

学校週5日制の月2回実施 教育改革の視点で準備を

1月13日・14日、大阪教組は六甲スカイビルで各単組の委員長・書記長を中心とした冬季セミナーを開催した。

日教組の横山委員長を講師に、「日教組21世紀ビジョン」について学習した後、当面する大阪教組のとりくみの主課題である「学校五日制」について各単組のとりくみ交流会を行った。

各単組とも情宣活動や学習活動を強めているところであるが、各職場論議は3学期が山であることなどが明らかになった。

教育改革という観点からすれば、4月からの隔週五日制実施は、自主編成運動推進のチャンスであり、授業改革、行事改革など学校改革に直結したとりくみが求められている。

交流会では、そのような共通認識に立って、以下の

大阪府教職員組合 第5回 冬季セミナー

「教育改革の連続発火点に」と基調提案をする新居教文局長。4月からの準備にむけて単組の交流を行なった。（1/13～14）

1月20日午後5時、部落解放共同教育部会（代表・田川大阪教組中央執行委員長）は、新築なったドーンセンターで同和加配交渉を500人規模で行った。

97年3月には地対財特法

94 同和加配府交渉

人権パネルを使って教育実践を報告。

差別がある限り 施策は必要だ

事務職員部と
栄養職員部が
中心になって
中央行動（94）



94年12月25日、95年度政府予算案が閣議決定された。一般教員予算総額は70兆9,871億円、一般教員は70兆9,141億円である。文部省予算は5兆6,393億7,000万円となっている。焦点は私立高等学校の授業料補助にあり、94年度は2.6%増、95年度は4.9%増となっている。この中には私立高等学校40人学級推進補助も含まれている。

「いじめ問題対策センター」の新設も、新設や学校へのカウンセラー派遣の予算など種々の新規事業も計上されている。

日教組重点要求の大部分が政府案に盛り込まれたことは、別名、ハガキ行動。意見書採択など日教組・大阪教組を中心とした幅広いとりくみの成果といえる。

が終了するという情勢のもと、今後の同和加配の在り方が模索されている。その中で加配交渉であるため、例年以上に参加者の関心も高く、交渉団、府教委共に緊張した空気にあふれていた。

冒頭、田川委員長より阪神大震災の犠牲者に対する黙禱が提案され、参加者一同厳粛な想いで交渉をスタートした。

各校現場からは、未だ厳しい差別の現実、子どもの実態が報告され、教育改革、同和加配の改め方の重要性が訴えられた。

谷口教育長も、熱心に現場報告に聞き入り、「加配の総枠確保に最大限の努力をする。そのため、非常に厳しい財政事情であるが、財政当局との折衝に現場の思いを持って行きたい」と決意表明。同時に、「法のあるなしに関わらず、部落差別のある限り、施策は必要である」との認識を示した。

交渉は、8時前に終了し、府教委はただちに財政当局との折衝に入った。厳しい財政状況下、予算は許されない。大阪教組は加配事務局長の中核として引き続きとりくみを強める。

94年12月25日、95年度政府予算案が閣議決定された。一般教員予算総額は70兆9,871億円、一般教員は70兆9,141億円である。文部省予算は5兆6,393億7,000万円となっている。焦点は私立高等学校の授業料補助にあり、94年度は2.6%増、95年度は4.9%増となっている。この中には私立高等学校40人学級推進補助も含まれている。

「いじめ問題対策センター」の新設も、新設や学校へのカウンセラー派遣の予算など種々の新規事業も計上されている。

日教組重点要求の大部分が政府案に盛り込まれたことは、別名、ハガキ行動。意見書採択など日教組・大阪教組を中心とした幅広いとりくみの成果といえる。

教 え 子 を 再 び 戦 場 に 送 る な



救援物資をヘリに積み込む連合大阪の救援隊 23日、神戸市王(子)陸上競技場で

死者五千人を越す大惨事となった兵庫県南部地震に対する日教組の緊急カンパは、二四日現在、五五分会

兵庫県南部地震

カンパ、続々と 大阪教組 救援物資を現地へ

で、PTA、生徒会などのカンパ活動が始まったり、二一日に行われた北河内地区教組女性部の講演会でも会場カンパ金で生理用品が送られるなど、続々と救援活動が広がっています

元気です

今回の地震で罹災された組合員のみなさんはいずれも元気にされています。

◆十川美樹さん(枚二小)

神戸市垂水区で罹災。家は無事だが、内部は家財が散乱。後片付けを終わり、門真の実家に。子どもさんの保育所が決まり次第出勤の予定。

◆関小夜子さん(菅原小)

尼崎市御園で罹災。家は無事だが、食器の1/3が割れるなど、内部に被害。後片付けを終え、20日より出勤されています。

◆村島恵美子さん(招北中)

神戸市兵庫区で罹災。自宅マンションの柱が歪み、加古川へ避難。24日に須磨区太田中学の避難所へ。

日教組は現地対策本部を大阪教組内に設置、全国各県教組から救援物資が送られてきていましたが、二二日、大阪教組田淵委員長、樋口書記長が同乗して、第

連合大阪は救援ボランティアの派遣を決定、第一陣が二三日に現地入りし(枚二小から磯野書記次長が参加)、救援物資の積み出し作業に従事しました。連合大阪の救援活動は今後も続けられ、枚教組も大阪教組の一員として積極的に参加します。

連合が救援隊 枚教組も参加

日教組教研

再建以

27日から長崎で 枚方から4人が参加

第44次
の日教組
教研は、
一月二七
日から三
十日まで
長崎県で
行われま
す。

来、「解放教育の思想を全ての分科会で」を合言葉に日教組教研に積極的にとりくんできた大阪教組の一員として、枚教組からも、関山さん(中宮小)、塩野さん(枚二小)、荒木副委員長、磯野書記次長が参加します。

とくに、関山さんは「障害」一児教育分科会のレポーターとして参加、枚方・大阪のとりくみを全国にひろげるべく報告されます。

ヒラカタ

94年度

71

発行
枚方市教職員組合
情宣部
枚方市新町2丁目
1の7 電話41-
2997 FAX
46-5855

反戦平和学習会

「従軍慰安婦問題を考える」
一月二六日三時・メセナ

加藤登紀子コンサート

まだ、券が残っています。
今後に売れた分は、全て兵庫県南部地震被災地への救援金としますので。積極的にご協力下さい。

とき: 2月22日(水)

ところ: 市民会館大ホール

教え子を再び戦場に送るな

このヒラカタは再生紙を使用して発行しています

号外
95.1.27

大阪教組ニュース

発行所=大阪府教職員組合
(日教組) 〒543 大阪市天王寺区東高津町7-11大阪府教育会館4階412号 TEL 06-765-1558 FAX 06-765-1268/ 発行責任者=田淵直
編集責任者=土屋敏明兵庫県内の教職員
・子どもの犠牲者
教職員 19人
子ども 290人 (1月25日現在)
謹んで哀悼の意を表します

日教組

支援

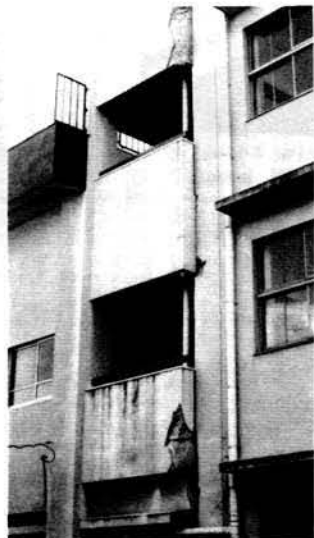
あいっぐ

兵庫へ
カンパ

一億円

日教組の横山委員長が、23日に神戸入りした。同委員長は日教組が進めている被災者支援カンパから、第一歩として1億円を兵庫県教育復興に全力を挙げて行うことを言明。県教委として子どもや教職員の安全確保を要請した。

ひき続き、横山委員長は、石井委員長とともに連合兵庫へ激励に訪れた。さらに兵庫県教育委員会に赴き、被災者支援カンパから、第一歩として1億円を兵庫県教育復興に全力を挙げて行うことを言明。県教委として子どもや教職員の安全確保を要請した。

校舎外壁の一部が壊れた
(豊中第4中学校)

大阪も被害甚大

豊中市の19校が避難所に

府内の被災した子どもたち500人

大阪教組田淵委員長と樋口書記長は、1月23日、豊中市立第6中学校を訪問。同小の組合員は、自らも被災しながら、学校が避難所に指定されているため、献身的に救援にとりくんでいる。「避難している方は、昼間は家探しに出ています。夜になると、体育館に300人くらいにふくれあがります。職員にも疲労が溜まっています」と語っていた。

さらに、吹田市教組の調査によると、地震によって倒れた校舎のガラスが361枚

阪神大震災の被害が、連日報道されるたびに大きくなってきている。5千人以上の死者を出した神戸・西宮方面の被災地への行政や市民からの支援が集まっているが、大阪府内最大の被災地である豊中市を中心とした地域への支援・対策も早急に求められている現状がある。避難者2千600人、死者4人、建物の全半壊550棟、市内67ヶ所に分かれて避難生活を送っている豊中市をはじめとする地域への緊急の支援も要請したい。

体育館のガラスは15枚



神戸の惨状が大阪でも (豊中市内)

厚い友情と連帯に感謝

今回の阪神大震災で、豊中では、教職員の死亡1人、骨折等の負傷者7人、家屋の全壊9人、半壊・避難勧告の居住不能家屋11人、損壊家屋多数となっている。豊中在住の教職員は全員と言っている。家財の被害を受けている。家屋の被害もいる。そのコンロ・ガス

や交通遮断等で出勤不可能者が25人に達している。教職員住宅に10家族36人が入居し、緊急避難生活に入っている。また、川西市などの地域でガスがとまり、カセットコンロに頼っている組合員もいる。そのコンロ・ガス

ボンベが品切れで、一時困ったが、大阪教組本部や校方市教組からコンロ・ボンベが届いて大変助かった。豊中市民約3千人が学校や公共施設67カ所で避難生活に入っており、19の小中学校に1100名が避難し、教職員も自主的世話活動に参加している。

参加している。阪神間に隣接しているだけに、被災地域より転入する児童・生徒も多く131人(25日現在)に達している。1月23日、緊急分委員会長会議を開催し、被害状況を共通理解したあと、組合としての当面の方針を決定し、日教組・公立学校共済・互助組合・労金の詳細な説明を行い、全教職員に徹底するように指示した。この会議には、田淵委員長や日

交通遮断や被災による欠勤の教職員は19人となっている。池田市教組の調査では、校舎のガラスが100枚割れた小学校、60枚割れた中学校もあり、出勤できない教職員が31人いる。

このように、北摂地域をはじめ、兵庫県に隣接する大阪市の各行政区でも被害がおよび、一日も早い復旧が待たれている。

被災した児童・生徒の大阪府内各学校への転入が進んでいる。各校でのあたたかい迎え入れが望まれている。転入希望者の82人を含めると合計2641人、発給した教科書数は9702冊である。



一日も早く登校できる日を

大阪府内への
転入状況

幼稚園	135名
小学校	2778名
中学校	259名
養護・高校	10名
合計	3182名

(1月27日現在)

転入生続々と

行こう、市町村教育委員会を指導する」との回答を得た。大阪教組は、これを了承、直ちに文書で市町村教委に徹底するように要請した。

大渋滞の中 物資第2弾

1月22日の緊急救済物資として神戸に向かった。第1弾は、岩手県教組、鹿兒島高教組から寄せられた、飲料水・野菜などと、雨合羽・紙おむつなどの生活必需品合わせて8トンを兵庫県教組に届けた。

さらに、兵庫県教組の要請に応じて、24日午後、苦勞を重ねて入手した簡易コンロ10台とカセットボンベ1千728本等をトラックに満載して平沢書記長と米田中快が緊急救済物資第2弾と



第2弾の卓上コンロを積みこむ。
(1月、午後2時府教育会館)

子どもたちに学用品プレゼント
大阪教組とコクヨ労働組合が連携して、府内への転入生・被災した幼小中学生全員に学用品を緊急支援することを決定。

学用品は、ノート5冊・シャープペンシル2本・替芯・消しゴム1個をセットにして5千個を用意。30日に贈呈する。



寒風の下、搬出作業を手伝う組員(1月、王子公園)
写真提供、枚方市教組 磯野雅治

大阪教組としては、23日に9名の救済ボランティアを派遣。24日・25日は泊り込みで、26日の日曜日で5人、連日約10人が、大保山からのチャーター船による派遣5人を神戸市内へ。連合大阪に集合して電車による西宮市内へ5人を派遣となっている。この派遣は、当面2月5日まで続けられる。

西宮市内の救済ボランティアに対する市民の声
●「本当に助かりました。感謝の気持ちで一杯です。連合大阪の皆さんありがとうございます。」(避難所の体育館の責任者)

●「地震前はお付き合いもなかった人と協力し合って人間同士のつながりができました。なんか人間の在り方が試されているようです。」(主婦グループのボランティアの皆さん)

神戸発 ボランティア現地報告

阪神大震災で大きな被害を受けている神戸に向けて、1月23日朝、大阪教組から9名を含む連合の大阪救援隊の第1団が大阪港から出発した。着後、救援隊の一部を神戸市役所南の公園に残し、本隊はトラックの荷台に乗り込み、ビルの倒壊などでごったがえしている三宮の町並をぬけ王子公園にむかった。

王子競技場の広いフィールドはヘリポートとなり、自衛隊の大型ヘリコプターで全国から運ばれてくるおにぎりやパンといった救援物資は、ここで消防本部等の小型ヘリコプターに積みかえられて、市内の被災現場へ運ばれていく。ヘリコプターが発着するたびにものすごい突風がおしよせる。運ばれてきた段ボールを飛ばされないように必死で抑え、風が納まるとすぐ搬出を開始する。その日の被災者の食料品であるだけに、作業のみんなも緊張の連続で、少しでも早く届けられるよう他のボランティアと共にとくんだ。

(大阪市教組本部 酒井 聖)



いざ神戸へ。一刻も早く救援活動を。(1月、早朝天保山)

救援ボランティア大活躍

1/23
2/5 連日 100人を派遣

連合大阪
大阪教組

各共済・互助組合では、阪神大震災に伴い、すでに給付の受付が始まっている。災害に伴う給付申請について、大阪教組の申し入れにより、特例措置が講じられた。詳細については必ず、問い合わせを。

給付申請に特例措置

公立学校共済組合

災害見舞金の請求手続き、貸付金の特例措置について

1、災害見舞金・災害見舞金付加金請求

住居・家財が全損した場合について、災害見舞金・災害見舞金付加金は省略できる。被災証明書・住民票・写真については、給付後の4月まで提出。なお、特例措置の受付は、3月24日まで。なお、全損以外についても特別の事情のある場合は、問い合わせを。

2、災害見舞金・災害見舞金付加金請求

災害見舞金の必要書類の内、被災証明書については所属所長の証明で可。また、組合員証・振込先預金通帳を紛失した者は不要。

住宅災害貸付の必要書類の内、被災証明書については、所属所長の証明をもって受け付けるが、平成8年3月までに所轄官公署が発行する被災証明書が必要。

給付第一係 TEL 06-941-2867

貸付係 TEL 06-941-2865

府互助組合

兵庫県南部地震災害にともなう給付金・貸付金等の取扱については、現行規則に基づいて対応する。ただし、給付・貸付方法については、下記の通り特例措置を講じる。

1、給付金・貸付金関係の添付書類

兵庫県下に在住の会員で、被災証明書の取得の困難な者については、所属長の証明にて対応(できれば被災の写真を添付)する。

なお、災害見舞金・大震災見舞金は併給できない。

給付係 TEL 06-762-7361(代)

貸付係 TEL 06-762-7361(代)

日教済

総合共済から、住宅災害給付・災害見舞金・一般見舞金。大震災共済から住宅災害給付・災害給付については、個々により違うので、相談を。

その他、死亡に関しては総合・団体生命、終身共済からはそれぞれ給付が受けられる。なお被害が甚大で、給付手続きが困難な場合は必ず支部に相談を。

大阪支部 TEL 06-768-4910



Wよ、どこにいる！？いざ神戸へ

とにかく、地震の被害をこの目で確かめて自分にもできることを何かしたいということで、組合をつうじてボランティアに応募した。

ところが、行く前日になって受け入れ態勢ができないから、中止だという連絡が入った。「えっ、なんでや。せっかくやる気になってるのに。ほんまに行政ちゃうところは小回りがきかなー。外国のボランティアも断ったりして、相手が怒るん無理ないわー。」と、ガックリした。でも、今回行く気になったのも、中学の時の一番の友人Wが神戸市東灘区に住んでいて、あれ以来連絡がとれないので、消息をつかみたいということだった。気を取り直して、Wを捜しに行くことにした。行ったら何かわかるだろう。自分に出来ることもあるだろう。ボランティアも自分で出来る所を探してみよう。

梅田の阪神電車の改札口に行ってビックリした。リュックや大きな荷物をもって、山にでも行くような恰好の人ばかりだ！それが列をつくって切符を買っている。それまでの近鉄や地下鉄には毛皮のコートを来た女の人がたくさんいたが、ここはそんな人はいない。まるで戦争が終わったあとの混乱期のような独特の雰囲気、思わず身がひきしまった。

西宮の甲子園駅を過ぎたあたりから、屋根に青いシートをかけた家が目立ち始めた。と思ったら、見るも無残に壊れた家々の姿が続けざまに目に飛び込んできた。あっちもこっちも家がつぶれている！

木造の古い二階建の家はたいてい一階が完全につぶれていた。屋根の瓦が落ちた家も多い。なんてひどいんだ！

めざす駅で降りてWの家を探した。その辺りの商店街は店が傾いたりシャッターがつぶれたりして、ほとんど開いていない。道路におおいかぶさるように傾いた家もある。今にも落ちてきそうだ。道の端を歩くのは怖いので真ん中を歩いた。家の残骸や、そこから出た粗大ゴミの山で、街は異様だった。この悲惨さは電車から見ただけではわからない。名古屋から来た救護の人がお医者さんと看護婦さんがチームになって、路地を巡回していた。

やっと、Wのいたアパートを見つけた。2階建の文化住宅は見るも無残に一階がつぶれてなくなり、2階もこわれて廃墟になっていた！ Wは無事だったのか……？



なんやこれー？
こゝろは……



(はちろ二階建)

ここを捜索して遺体も収容した名古屋の消防署員は

丸3日間……

地震と南北問題とのつながりは？

今までどうして日本人の多くはアジアやアフリカなどの人々の悲惨な状況に無関心なのだろうか、どうして自分のことしか考えない人間が多いのか、物は豊かだが、心の豊かさが失われていっているのではないかなと思ってきた。

それを克服しようと、3年前の世界地理学習では、ベトナムやインドの現実、フィリピンのストリートチルドレンやマレーシア・サラワクの熱帯林破壊などをビデオを見せながら、現地の人々の立場に立って考える視点をつけようとしてきた。確かに、意図した以上に生徒達は真剣に考え、アジアの人々の置かれた状況に心を寄せ、そしてその中でたくましく・やさしく・けなげに生きる彼らの生きざまに人間としてのあり方を気づいた子も多かった。

だが、まだ悩みがあった。それは、やはりアジアのことは人ごとであって、自分とは離れたものである、ということだった。欧米の方が、他国や他民族の運命を自分のこととしてとらえてボランティアなどに抵抗なく参加する人が多い、ということはどうしてなのか、不思議だった。

日本との違いは一つは、彼らは多民族・多文化の社会で生きてそれが当たり前であること、もう一つは教育の中でも楽しく自然と他者のことを感じるような「開発教育」がさかんだったことだ。

そんなところへ、今回の地震があった。今まで「雲仙普賢岳」や「奥尻島」の場合は、僕自身もどうもまだピンと来なかった。それが、今回は大阪もあれだけ激しく揺れたし、神戸はすぐ隣だし、またひどい余震が起こるかもしれないということで、まったく人ごとではなくなったのだ。それは、理屈ではない。体で、ハートで感じるから、大阪の人々は神戸の人々の運命を自分のことのように感じて取り組みだした。

ということは、南北問題についても、上記の現実についての学習も必要だが、その前提としてアジア・アフリカへの親しみが不可欠ではないのか。その国の音楽・遊び・芸能・習慣などの文化や歴史・生活などに自然に触れて親しみをもつことが、南北問題への理解につながるのではないか。「急がば回れ」だ。小学校へのオリエンテーション授業でもやったような方法でやってみてやれ。きっと、「私の好きなあの〇〇の国にそんなことがあるなんて、黙っていられない」という感性を生み出してくれるのではないだろうか！



救援カーニバル(戦場)
11.1万募集
あらかとうごこきました

墨村、敬研(保崎)
報告くださる。

羽中分会/ニュース

195
1/30(月)

八尾教育速報

1995. 1. 31.
速報 NO. 3
八尾市教職員組合
TEL 0729-93-6399 Fax 0729-22-8622
発行責任者：土田 紀康
編集責任者：岩下 順一

大阪教組・コクヨ労組から

手渡されたエール 「地震に負けるな」

今回の阪神大震災にともなって、八尾市だけでもすでに80人を超える子どもたちが転入してきています。大阪教組とコクヨ労組はこれらの子どもたちが、就学にあたってすぐにも必要な文房具を贈ることを決定しました。1/30両組合の代表が八尾小を訪問。他に市教委からは向出部長も参加し、山上校長はじめ同校の教職員が見守るなか、「地震に負けるな」と書かれた青い封筒にはいった文房具が、コクヨ労組の中川さん八尾教組の土田委員長から、子どもたちの代表四人の手にそれぞれ手渡されました。

府下各地に転入した3800人（さらに増える傾向あり）と府下で直接被災した児童・生徒約800人には、すでに物品が届けられています。八尾の残り29の対象校園の子どもたちの分も、31日には各分会に評議員を通じて届けられます。それぞれのクラスで、担任の先生から「励ましの声」を添えてお渡し下さい。

（今後、新たに転入があった分会は書記局まで連絡して下さい。）



「障害」児の親の願いを聞く会
2/2(木) 3:00～プリズム 研修室

市も動いた 八尾教組の「緊急申し入れ」 一部実現！

八尾市は被災地からの転入児童・生徒に対して就学援助を弾力的に運用して対応することをいち早く決定し各学校園に通知していましたが、それ以外の施策として学用品費、教材費など、小学生一人5,000円・中学生一人10,000円を限度に転入生受け入れ校に支給することを30日(月)に緊急に決定しました。

私たちは、この緊急措置を、八尾教組の「申し入れ」を受けて決定されたものとして評価したいと思います。

各分会においては八尾教組がすでに決定した「緊急補助制度」一人2万円とあわせて有効に活用して下さい。

◎八尾教組「緊急補助制度」

に問い合わせ、次々と

八尾に転入した子どもたちに、2万円を上限として学用品などを購入してもらえ「阪神大震災緊急補助制度」（指示文270号）について、受け入れの分会から次々と、問い合わせの電話が書記局に寄せられています。

転入してきた子どもたちには、やはり就学援助金だけでは追いつかない状態のようです。

八尾市の新設の補助制度と合わせて、有効に活用して下さい。

八尾教組阪神大震災緊急援助制度

請求の仕方

- ①分会で相談してそれぞれの子どもに必要な学用品（学校で使うのに必要な物品）を2万円以内で購入して下さい。（とりあえず、お立て替え下さい）
- ②申請用紙（評議員が持っています）に必要事項を記入して下さい。
- ③申請用紙の裏に購入した物品の領収書を貼って下さい。
- ④書記局にあらかじめ金額・日時を連絡の上、書記局に持ってきて下さい。（申請用紙と引き替えで、現金をお支払いします。）

急募

救援 ボランティア 組合員に 訴える 至急登録を

いま、激震被災地兵庫から「ボランティア交替要員」の派遣要請が発せられている。

地震発生から2週間。寒さが一段と厳しくなる中で、避難所で生活をせざるを得ない人々の暮らしは困難を極めている。

そんな中で、避難所となっている学校の教職員（多くは、日教組組合員）は、被災直後からの救援活動や避難所の世話活動で文字どおり不眠不休の奮闘を続けている。組合員には、極度の疲れが見られると言う。

避難所のボランティアとして頑張る兵庫の教職員仲間を支援し、彼らが担っている仕事を1～3日間ほど交替する「ボランティア交替要員」が要請されている。

すでに豊中市教組の仲間は、豊中市内19ヶ所の避難所のボランティアとして連日の奮闘を続けている。

多くの大阪教組の組合員の皆さんが被災地兵庫の仲間からの呼びかけに応えられることを訴える。

交替要員を

多額の義援金・連合大阪ボランティア部隊の派遣など、大阪教組の皆さまのご支援に心より感謝申し上げます。

現在、激震地では、未だにガス・水道が不通のままで、被災者は苦しい生活を強いられています。また、殆どの地域では、学校が避難所となり、そこに勤めている教職員が不眠不休で全ての世話を行っています。

県(高)教組は、全県組合員を3泊4日を基本とするローテーションで「ボランティア交替要員」体制を組んでいます。しかし、避難所になっている学校が400校に近い中で教職員の避難所救援活動は困難を極めています。

避難所へのボランティアを含む引き続いてのご支援をお願いする次第です。

兵庫県教職員組合執行委員長 石井 亮一

避難所から 支援の要請

一日でも二日でも避難所の救援ボランティアとして応援に行ってもよいと考える皆さんは、今すぐに各教組(支部)に「救援ボランティア登録」をして欲しい。

大阪教組は、日教組の全国の仲間とともに、避難所となっている阪神間の小中学校の救援ボランティア隊を組織したいと考えている。

予定されている期間は、2月いっぱい。毎日40～50人のべん500人以上の大阪教組組合員の支援が要請されている。

現地にボランティアとして参加できない人も、行く人を職場で支えて欲しい。

いま被災地現場からの要請に応えるためには、大阪教組2万組合員の総力を挙げた支援体制の確立が求められている。

号外
95.2.1

大阪教組ニュース

JTU



畑中進一さん

いつもの店に
ああ君の
姿だけがない……
城北支部長
昭 智 志

があった。
ともに露となった連れ合い、晶子
んととも、そんな時に出来てゐる
最後まで仲のいいふたりだった。
幸いにも二人の子ともは残つた。
君たちに似た精悍な息子だ。

友が集まつた。いつもの店だ。
君の席がない。
寂しい限りだ。

情熱を込めてレポート報告
する中川西大阪支部長



大阪の教育実践アピール

——平和環境民主主義の基調に

日教組は、四月十日、教育者全国集会を、十七日から二十日の日程で開催した。開催地となつた長崎市には全国から教職員、父母、市民ら約一万五千人が集い、「平和、人間、環境、民主主義」を基調に、「ゆとりと希望」の教育をめざす教育改革論議が展開された。

冒頭で主催者挨拶を行った横山英一（日教組委員長）は九年四月から隔週学校五回制が実施されることとは評価した上で、これの着実な実施と元来学校五日制の実現をめざして取り組みを強めるべきとの意欲を示した。

また、横山委員長は「同じ問題にも触れ、この解決策のひとつとして『子どもの権利条約』の理念、国際化をはかること、全国の校長、教頭、教職員の代表、子ども、保護者の代表等で構成する学校協議会を設置すること」を提案した。更に、今次教研集会でも特別分科会を設定しているという問題を議論するところを明らかにした。

二日からは各会場に分かれて分科会が行われ、市教組からは「国際連帯のための教育」「教育条件整備の運動などについて報告がなされたほか、多くの組合員が討論に参加し、解放教育を中心とする大衆的教育実践をアピールした。」

16日
投票

部役員選挙が開始される。である。二週間にわたる選挙期間中に各候補者の主張をもとより役員選挙は一年投票で新執行体制を選出することが重要である。

め、選挙管理委員会では全
国投票を呼びかけるポスター
併せて要請する。

評のフィールドワークを行
う。今年は南港食肉市場を

場所 大阪府同和地区総合福祉センター

「私は本読みが、一番いや。あたると頬が熱くなるのが自分でもはっきりとわかる」とRさん、抜き出し指導がはじまってしばらくして

間違えた時の友だちの目のようだ」と。

帰国後、年目の一年日さんが、授業が始まる寸前泣きだした。里



数日後、日さんは言った。「だって、文句を言われた時、言い返そうと思うが、日本語が浮かんでこない。だから、後で言ってしまう」

日さんが受けたのも受けたたのも
瓜破東小

こんな取り組みに参加し、初めて知り、ショックを受けて、センター校を訪ねてビデオを見

上の課題
大阪府下小・中・高校の現場から実践に基いた問題提起が行われる。

本校に在籍する中国の子どもたちは、ほとんどが「既知輸入」の孫にあたる。今年度から初めて抜き出し指導を始めることとなり、転勤リクワの私がその担当の一人となった。

一年Rさんは、日常会話に支障はないようでも漢字の読み間違いが多い。同じ字でも幾通りも読み方のある日本の漢字を読む。そのしは相づもりがよいようだ。そして、何よりも気にしているのは、

「一人がいつも文句を言ってくる」と言う。男子の言い分の一つは日語とはいっても後になって文句を言ってくるのが気に入らないとのこと。



みんな一緒に
クリスマスパーティ



か、また泣きだしてしまいました。

ここから出発
するしかない

「一年、汐渚の取り組みが始まった。キャンパファイアの係の先生が私に近づいてきた。」これ、日かもってきたんですわ」としおりを見せた。日ささんが小学校の時に行ったキャンパの話を聞いた。

テレビの
はじめ本
はないか。
討論もし
いる。そ
なから打
かから聞
が現でた
たショウ
こなか
(長

「ユースの中にも目さんや校の一年生が出ているで
しかも、差別問題でな
たそこには報じられて
たなこともまったく知
らなたち。いや、子ども
たことすらできない状況
あることをつきつけられ
は大きかった。」

吉(反中 井上 泰雄)

小黑板

加美東小寺澤さん 深江小花野さん 栗田南小富田さん 加美東小寺澤さん 深江小花野さん

「日丸・君が代」問題
討論集会がアビオ大坂で
開催された。矢野野理事長が基調報告を行い、「社会党による『日丸・君が代』容認など厳しい情勢もあるが、村山首相は繰返し『強制はよくない』と述べており、分会の意思疎通を図り、押し付けを跳ね返そう」と訴えた。

続いて加美東小寺澤さん、栗田南小富田さん、深江小花野さんが分会の粘り強い取

漢詩と歩く
融けあう書
生き生きと

市教組教研
2分科会開催

教育・社会科
教育・18日

在日朝鮮人
教育・17日

見学する。一時、時分、南
港フェリーターミナルに駅舎
合。多数の参列を

「日の丸・君が代」問題
討論学習会
押し付け跳ね返そう
「日の丸・君が代」問題討論学習
会大阪府校長組合
基調報告を行う
矢野書記長

機 莫山 (角川書店)
4800円

と画と文章

来る詩人たち

著者は周知のとおり著者の著者が、本人が好きだと思惟像力豊かに解釈して一著である。

書家の書いた本なので、いゝのは当然といへば、これに加えて著者自身の手おれており、美しい写真、楽しいものになっている。

登場する李白も杜甫も陶

名な書家である。その
という漢詩について
冊の本にしたのが本
隨所に書が挿入され
当然であろうが、そ
による画も数多く使
と併せて本書を一層
このような本だから
説明もこれまでのイ

漢詩と歩く 柳 莫山 (角川書店 4800円)

融けあう書と画と文章

生き生きと蘇る詩人たち

の著者は周知のとおり著名な書家である。その著者が、本人が好きだといふ漢詩について想像力豊かに解釈して一冊の本にしたのが本書である。

書家の書いた本なので随所に書が挿入されているのは当然といへば当然であらうが、それに加えて著者自身の手による画も数多く使われており、美しい写真と併せて本書を一層楽しむものになっている。このような本が、登場する李白も杜甫も陶淵明もこれまでのイメージを超えて生き生きした人物として蘇つてくる。それもまたうれし。

李白 白詩百篇 大浴びりや詩ができる
長安の上酒家 長安のバーの心地よさ
天子呼来不上船 なに天子が呼んだとて
自稱臣は酒中仙 酒と別れて行くもんだ
右は、玄宗の招きを忘れて酒場で酔いつぶれた李白を描いた杜甫の敬中八仙であるが、この下にくれた跋文で読むと何となくわかりやすくならないか。(▼)

句問 この・冊 ⑦⑦

(125)

阪神大震災

被災児童・生徒励ます学用品

コクヨ労組と大阪教組が1300名分贈る

■「地震なんかには負けるな！」……大阪教組はコクヨ労組との協力で被災した府下の子どもたちと仮転入してきた子どもたちを励ますために文房具1万セット（ノート5冊、シャープペンシル2本、替心消しゴム）を贈ることにした。

■1月30日午後3時、大阪教組の田淵委員長とコクヨ労組の麴谷委員長が野田小学校を見舞い、児童会代表を励まし、野田小分70セットの文房具を手渡した。豊中へは全体で1300セットが贈られ、市教委を通じて小学校各校へは31日に配られた。中学校へは3日ごろ配布される予定。

■府下へ仮転入してきた子どもたちは4000名を越した。豊中へは1日の時点で小学校340名、中学校38名となっている。

■市教委はいち早く被災児童・生徒への学用品費支給を決定したが、額の上積みと品目の追加、支給事務の簡素化を求めて執行部は市教委と協議を重ねた。結果、市教委は31日、当初の小学校3900円、中学校4100円をそれぞれ8000円に増額することを決め、新たにフエルトペン、鍵盤ハーモニ

カ、コンパス、習字道具、裁縫セット、体操服、体育館シューズ、上靴を追加した。購入する業者についても、指定業者に加えて通常各校で取り引きしている業者でも可とし、書類提出期日も延長した。現場要請にこたえた今回の市教委改訂を評価したい。

■日教組の横山委員長は31日午前豊中市役所を訪れ、林市長と青木教育長に大震災のお見舞いと激励をし、「日教組としてもできる限りの努力をしたい」と語った。林市長は「現在2150人が避難所生活を送っている。今後は住宅の斡旋に力を入れていきたい」とこたえ、大阪教組、コクヨ労組が連携して文房具セットを被災した子どもたちに贈ったことにも触れて、感謝の言葉を述べた。この場には横山委員長の他、大阪教組の田淵委員長、仲林・日教組生活部長とともに豊中教組から崎間委員長、青木副委員長も同席した。

■日教組近畿ブロックが呼びかけた「阪神大震災救援カンパ」は、豊中教組各分会で全力で取り組み、2月1日で181万6千円が集まり、この日、全額を日教組・

市教委・緊急学用品費増額する

大阪教組へ送金した。

■分会に「共済制度の改正案固まる」の速報を掲示用として送付したが、公立学校共済組合は2月1日に改正を決定、実施時期は日教組の強い申し入れと協議の結果、2月1日からとなった。内容的にも日教組の要請がほぼ反映された改正となった。（裏面に速報掲載）

■避難所や仮転入等の対応の中だが、四教連「2・11平和を考える集い」は例年通り開催。全分会平和教育推進委員、教研推進委員を中心に2割の動員。11日（土）午前10時から池田市民文化会館で。

豊中市教職員組合 情報

組合は職場にあり。仲間を増やし民主的な職場を作ろう。

第37号 1995年2月2日
編集発行 豊中市教職員組合
発行責任 崎間 寛

教を子を再び戦場に送るな！

阪神大震災

組合員にかかわる被災状況

全壊11、半壊11、部分壊、家財・食器損壊多数

■全組合員に実施した阪神大震災による組合員被害状況調査が集計された。それによると、家屋が全壊した組合員は11名、半壊は11名、家屋になんらかの被害を受けた組合員は381名、家財・食器等に被害を受けた者517名。負傷等については、肋骨骨折、切傷、捻挫、打撲など組合員で17名、組合員の家族26名となっている。

■給食費の取り扱いについて、給食事務所は3日、緊急措置として地震発生以後3学期の間は仮転入児童全員について、免除の措置をとることを各学校に通知した。

■市教委学務課は、震災で居住している家屋が全壊・半壊の被害を受けた児童・生徒についての「就学援助制度」の弾力的適用にかかわる保護者向け案内を配布した。学用品費、給食費等に対する支給をこの制度で行なうもので、制度の所得制限についても従前の4人家族で保護者の所得合計が300万円以下が一律750万円以下の

就学援助制度の所得制限緩和される

適用に緩和された。受付期日は2月7日から28日まで。

全国で2万人突破
豊中へは400人超える

■各都道府県における阪神大震災による児童・生徒の仮転入は47都道府県で2万人を突破し、2月2日付の文部省調査では2万573人となっている。その中では、阪神地区から最も近いこともあって大阪の5543人が全国最高となっている。

■豊中への仮転入は、2月3日で小学校358、中学校43で、合わせて400人を超えている。

通勤手当の2月分
被災者の有利に

■通勤手当等の認定方法について府教委は、今回の震災によりやむを得ず一時的または臨時に通勤の経路または方法を変更した場合、

仮転入児童の給食費免除に

2月分の通勤手当については変更後の経路および方法で算出した通勤手当の月額が変更前の月額を下回る場合について、変更前の通勤手当で支給することとした。ただし、この措置は2月分についてのみとなっている。

■被災生徒にかかわる高校入試上の配慮として府教委は、兵庫転入生の合格者は募集人員の半数とすることを決めた。しかし、豊中等の被災した受験生に対する配慮について、具体的な策はまだ示されていない。これが緊急の課題として大きくなっている。

豊中市教職員組合 情報

組合は職場にあり。仲間を増やし民主的な職場を作ろう。

第39号 1995年2月6日
編集発行 豊中市教職員組合
発行責任 崎間 覚

教を子を再び戦場に送るな！

ウルトラ2

1995.2.6

No. 60

2-C 学級通信

ガスものの二れは その時はまだ知らなかった。

大震災から3週間、一中2年生への転入も7名になった。II-Cに、たまたま頼んで、彼女が経験したことを書いてもらった。

――明け方、大きな音と共に激しいゆれを感じた。と、すぐに上体を起こしたけど、それ以上起き上がることはできなかった。少しゆれがおさまってやっと立てる状態になっても窓からはまだ真っ暗だった。部屋の中を見わたすこともできず、とにかく部屋を出るためにドアを引いてはみたものの、ビクともしなかった。弟が机から小さなライトをとりだしてドアを照らすと、大きくゆがんでいる。とても開けられそうにない。お父さんがドアの向こうで私たちの部屋のドアをドンドンと叩いている。その時お母さんが、一枚のドアをへだてた向こう側で「ガス臭いよ」と叫んでいる。その時の私は、そのガスもののひどさを知らなかった。私の想像していたのは、たまたま台所でピーピーという音がなった時のように、あんな軽い程度のもので、すぐに止まるものだばかり思っていた。だから、ガスものの二れは、その時はまだ知らなかった。

とにかく部屋を出るために、窓からとなりの部屋のバルコニーまで

足をのばした。(この窓は たまたまカギが開いていたので、地震のゆれで勝手に開いていたから良かったけど、もしカギをかけてあったら、窓もやがんで私と弟は2人、部屋にとじこめられていた)暗闇で、ほとんど足元など見えず、それでも手さぐりでなんとか階段をおりた。玄関もやがんでぜんぜん開かない。居間の窓が一枚、雨戸ごと閉まってしまった。そこから外に出るために、居間に一歩足を踏み入れた。すると、ちと今まで私が想像していた「ガスもの」のイメージは、ひとかけらも残らずに閉まってしまった。なぜなら、その瞬間にあいど共に、ものすごい勢いでガスが吹き出る音で、恐怖のどん底につきおとされたからだ。足元では、バリバリと何かが割れる音がする。もちろん私たち4人はパジャマのまま何もはかず、はだしで外に逃げた。怖かったのは、それからガスを止めるまでの数分間だった。ガスを止める工具もないし、爆発するかもしれないという恐怖で頭がパニックしていた。ガスのメーターが、信じられない速さでまわる。どうしていいかわからなかった。足の裏が冷たくて痛くて、道迷いにすわりこんだ。

たまたま隣の人が工具をかしてくれた。弟のもっていたライトで元栓のあたりがわかった。そして、やっとガスを止めることができた。まさしく「不幸中の幸い」というやつだった。実は、弟のもっていたライトというのは、弟がどうしても買おうと言っていた、たまたま物で、私と母は「そんな物買っても役に立たないよ」と言って、へたそりばそのライトを買わなかったかもしれない。もし、

次号につづく。セーラムで長田区を写した写真展をする予定。

153
95.2.8

大阪教組ニュース

発行所＝大阪府教職員組合
(日教組)／〒543 大阪市天
王寺区東高津町7-11大阪府
教育会館4階412号／TEL
06-765-1558 FAX 06-765-
1268／発行責任者＝田淵直
／編集責任者＝土屋敏明

阪神大震災にかかわる生活・法律相談

大阪社会文化法律センターの
弁護士がお答えします。06(354)9477
2月28日(火)まで毎日、午後1時～4時

教育復興促進ボランティア

被災地の学校に、のべ1800名派遣

2月6日(月)午前9時から「教育復興促進」ボランティア結団式をたかつガーデンで行った。大阪教組は2月6日から3月5日までの1カ月間、西宮市や神戸市の避難所となっている学校11校に継続して支援することになる。1校に3名が「泊」のサイクルで、翌日のメンバーと共同作業(6名)を行。約900名の組合員が、のべ千八百名の交替要員となる。ボランティア登録者を単組へ。同じく日教組も、3名1組で11校に泊三日を原則に派遣。合計22校に66名が被災地へ向かった。



教育復興ボランティア結団式

結団式には80人が参加(2月6日)

ボランティアの参加者報告

1月30日午前8時に連合大阪に集合した私たち大阪教組の11人のボランティアは、神戸市立東灘小学校に行き、東灘小の先生方と共同で次のような活動を行った。

トイレ掃除
断水のため、校舎内のトイレは水が流れずたいへんな状態。現在は、簡易トイレが多数設置されているものの、地震直後の混乱の中でトイレが汚れた状態。手のつけられない状態になって使用禁止となっていた。私たちは、手分けして汚物を取り除き、床を磨き、ゴミの片付けをした。この結果、

水の詰め替えと運搬
地震直後の「水と毛布を」全国からの声にこたえて、全園からたくさんの飲料水が送られた。東灘小のグラウンドにも、ミネラルウォーターの段ボール箱が山のよう

学校内外の掃除
学校周辺には、非常用の飲料や食料の容器などが多量に散乱し、あらためて混乱のひとさを感じた。東灘小の先生も、「なかなかそこまで手がまわらなかったのです」と言われながらも「ここには多くの人が来られま

図書室の片付け
「いつから学校が再開できるかわかりません。でも、せめてうちの学校の子どもたちが一緒に集まって勉強できる場所を確保してやりたいのです」と東灘小の先生が訴えられた。その教室も避難された方々で、図書室の中、図書室を整理して子どもたちの集まる場所を整える作業をした。机や椅子のある空間の確保は何となくできた。しかし、この子たちの教科書は?学用品は?そして、学校の再開は?課題は山積している。東大阪市教組若江中分会 山本 文夫



中川知事(手前)と被災地の子どもたち・転入生の支援について具体的協議をする横山日教組委員長(右側)と田淵委員長。

大阪府教職員組合へ

ふんばうありがとうございます。大切につかまえていただきます。わたしは7さいです。いもうとは3さいです。いもうとどいっしょにつかまえてもらいます。じしんこわかったです。でもすいたにきてげんきになりました。すぐおかあさんはへんなことゆってわらわせます。わたしはおともだちがしんばいですが、じょうちゅうどかこうにいてるときはぜんぜんわすれてしまいます。ほんどうにふんばうありがとうございます。吹田南小学校1年生

神戸や阪神間から、着のみのまま何も持たずに転入してきた子どもたち。私たち大阪の教職員として被災した転入生をあたたかく迎えるために何ができるのか?クラスで転入生を紹介した後の休み時間に2人の女の子が「家に何個かあるのを使って、筆箱・下じきなどを渡して」と言う。転入生を受け入れるクラス作りも必要である。

地震に負けるな

「阪神大震災」――本当にびっくりしたことを話します。家族や友人を亡くした人もいます。でも、地震に負けないで、がんばってください。みんなが応援しています。

大阪府教職員組合
コクヨ労働組合

大阪府内への転入生
5786名になる
(2月3日現在)

幼稚園	261名
小学校	4896名
中学校	591名
高校	21名
養護学校	17名
合計	5786名

被災地のサポートを

1月31日、日教組の横山委員長が、23日の神戸の被災地訪問に続いて大阪を訪れた。豊中市長や大阪市長を表敬訪問した後、大阪教組と現地対策本部を訪れ、日教組から一千万円・日教済本部から二百万円の救援金、田淵委員長に手渡された。その後、連合大阪、中川知事と谷口教育長も表敬訪問し、日教組として教育復興のために総力を尽くすと語った。

被災地から府内への転入生が、下記のように6千名近くになっている。さらに、豊中を中心とした府内の被災した子どもたちにも、コクヨ労働組合と協力して、ノートやシャーペンなど、8千9百名分の学用品をプレゼントした。早速、吹田からお礼の手紙が届いた。

たくさんの人が声をかけてくれてうれしい
八尾市立上之島小学校 6年生

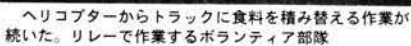
地震が起きたとき、私はすぐに目がさめた。すぐにふとんをかぶった。私は地震がおさまっても震えが止まらなかった。私はおばあちゃんやおじいちゃんのことを思い出した。お父さんが見に行っている間に、私たちはマンションの下にいた。頭から血を流している人がいた。そして、お父さんが帰ってきて、「おばあちゃんもおじいちゃんも大丈夫」と言ったのですごく安心した。でも、高速道路が倒れていた。私のマンションの横に倒れていたのでビックリした。それから、またおばあちゃんの家に行き、おばあちゃんの家の近くのへいは全部倒れていた。地面も割れていた。そしてその夜は自分の家で寝た。でも電気が流れてなくて夕方ごろにはもう真っ暗になった。だからロウソクをつけてトイレやふとんをした。何もやることがなかったので6時に寝た。でも余震がきて眠れなかった。朝になって同じ階の人から「ひなん命令がきてるよ」と言われ、八尾のいとこの家に行った。電車が通っていないので深江から甲子園まで歩いた。甲子園からは電車が通っているから楽だった。着いたのは夕方6時くらい。そしてお母さんが「もうとうふんは神戸の小学校に行けないから八尾の学校に行く?」と言った。私はいやだった。だけと行った。一番最初はいじめられるかなとか、のけものにされないかなとかたかさんあった。だけと大丈夫だった。たくさんの人が声をかけてくれたりしてすごく楽しいです。1月30日(月)

教え子を再び
戦場に送るな

大阪高教組

第94号

1995. 2. 10



一月二三日から二月五日まで派遣された連合大阪のボランティア活動。行き先も、作業も、規模も多種多彩にわたった活動だった。参加した方々の手記をひとまず報告する。

腕が痛み、腰が定まらず、しかし、考えさせられることの多かった活動

阪神大震災
復興へ連帯の力

泊二日ボランティアなどに申込続く

阪神大震災から三週間余、復興の歩みもようやく本格化してきました。この間、高教組組合員の連帯のエネルギーが大きく発揮されました。さまざまな活動に取り組んでいきます。未加入の職場の仲間からも申し出や励ましを受け、今後も一日二日ボランティアを中心に取り組みを継続していくことにしています。

い早くこの町近郊、ロッタが呼びかけたカネバは、月未に早くも「同宿の一〇〇万円をこえ、その後も続と寄せられてます。緊急に要請した連合大阪のボランティアの応募もわすか二日で、二〇名以上が集まり、内五名の主催校が二月五日、男子競技場公園に設置された物資センターや避難所となった東瀬小学校、ポトトアイランドなどで、寒風にも救援活動に活躍しました。

また、大教組とコキョウ労組は、同て企画し、被災者・転入生徒への文見舞い「地震を負けるな」も府立高校、養護学校、岸村町地教委関係、約八〇名に高教組分会、本部を通じて手渡されました。

一方、力超えては依然として、二五万人を超える人々が今も避難所生活を余儀なくされ、再開された授業とそれらの人々の救援に従事している民庫教組組合員の疲労はビクに達して

現在、財政・人手の両面から、中・長期の展望を持つべく、継続し、安定した慰問の必要になっていてい

当面、一月六日から始まった、高教組が避難所となった学校を三人一組負担して支援する「希望テア」(二ヶ月間継続)の予定に、皆さの積極的な参加が呼びかけられています。

爆音や砂塵
のなかの活動

「再び」の気持ち
佐野工・定 田辺孝司

大震災発生より一週間後の二・四・五日、連合大阪の「現地一泊ボランティア救援隊」に参加しました。食料・飲料水・寝袋持参で「野外生活を自己完結できるもの」という厳しい参加資格に少し不安を持って。仕事はヘリコプターからトラックに救援物資を詰める作業です。それも白

戦後の焼け跡
のような風景

救援活動の組織を
福井 樹谷佳彦

一日、連合大阪による、阪神大震災の救援組織「ボランティア」に参加した。行き先は六甲アイランド。阪神電車に乗り、青木駅に向う。西宮を過ぎた辺りから風景がガラリと変わった。多くの家屋が、本当に倒壊している。そして、終点の

連合大阪
ボランティア
参加記

衛隊員と連帯(?)して、困難であればあるほど私達が求められているからです。

教育復興促進
1泊2日ボランティア活動

▶行き先 神戸市立上野中学校
 ・灘区国玉通1-1-1
 阪急「六甲」北西1キロ
 ・アクセスは、JR、阪急

阪神の開通状況で変化します。

▷スケジュール 第1日10:30 現地着
第2日15:00 任務終了

▷システム 3名1組。学校の責任者の指揮下で活動する。

▷活動内容 ・清掃・整備・避難住民の生活支援・物資の

受入れ、管理・宿直、
夜間警備。その他
▷持参物 手袋、マスク、タオル、
かいろ、食事1食分、飲
▷扱い 「職免」。
ボランティア保険加入
▷期間 3月5日まで(予定)

六日早朝に行なわれた結
閉式には、大阪教組、高教
組をはじめ滋賀・奈良・茨
城・福岡・岡山・東京・長
崎・熊本高・神奈川県高の県・
高教組から八〇余人の組合
員が結集し、二カ所（内
大阪教組担当一カ所）の

高教組が担当する避難所は、灘区上野中学校です。すでに六日までの参加者は埋まっています。それ以降の日程をお願いしています（詳細別掲を参照してください）。

避難者がおられる所です。様はいろいろな活動で出けられて少ないのですが、夜になると、これだけの数になります。ボランティアに米られている人の数、少くないのですか。一掃りの方が多いので夜の事は多くなりそうです。普通の便の状況が不確定ですから、よく調べて来てくだい。」

胸囲は測定しなくてよい

健康診断が四月から変わる

11/24/2025

廃止は各校の判断です

部改正により、九五年四月一日から検診のやり方が変わりました。養護教員部を中心とする「教組の改善要求の内容も」部分に反映されています。残されたところの項目が生徒にとって必要なものであるのか問われている人の裸眼視力は測定

改正の主要項目を紹介します。

1 胸囲は測定しなくてもよい（九五年年から大阪府の最新統計の項目からも消えています）

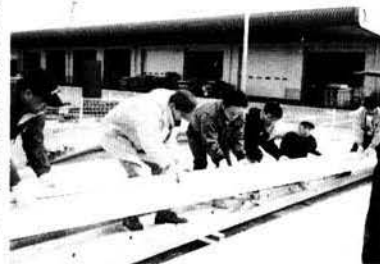
2 眼鏡やコンタクトを使っている人の裸眼視力は測定

廃止は各校の判断です

この機会に、女性教職の飲み種であった胸囲（定など、）しなくてもよいとされている検診を廃止する取り扱い組みよう

再審実現へ

2・6
仮出獄
報告集会



カナダから贈られた避難者用のテントの設営に
カナダ人技術者の指揮で従事（六甲アイランド）

号外



日教済

大阪支部
NEWS

号 外

発行日/1995年2月10日
 発行責任者/若見 晃
 発行/日本教職員共済生活協同組合
 (日教済)大阪支部
 大阪市天王寺区東高津町7-11
 大阪府府教育会館702号
 ☎06(768)4910

阪神大震災

謹んでお見舞い
申し上げます!



▲17日の震災で1階・駐車場部分の柱が破砕。右(西)の棟全体の中央で折れながら落下、使用不可(全壊)となっている。左(東)の棟の2mの落差が生じている。住民は避難、周囲も立入禁止で危険。(尼崎市南武庫之荘にて) 住民のTさんの手記は4面に掲載。写真撮影2/3若見

教職員の被害状況 (大阪府教育関係のみ)

《教職員》

- 死 亡 3名(小2 中1 西宮市・芦屋市・宝塚市)
- 重 傷 2名 (※兵庫では死亡14名)
- 負 傷 44名
- 住宅損壊 481名(全壊50 半壊64 部分壊364名)
- 外壁・屋根・家具損傷 多数………

《児童・生徒》 府内の学校

- 死 亡 0名 (※兵庫では死亡240名)
- 負 傷 332名(豊中254名 府立学校77名 市内1名)
- 住宅被災 894名(豊中565名など)
- 大阪府内への転入児童・生徒 5576名

日教済直ちに対策本部 大阪支部にも現地事務局

1月17日(火)午前5時46分・淡路島北端を震源とする阪神大震災(兵庫県南部地震)は、阪神地域に未曾有の大災害を引き起こしました。

2/6現在、死者2500名(不明6名)・負傷者2万6千余名・家屋損壊は10万余棟、被災額は10兆円とも言われています。

日教済は震災後直ちに本部に「兵庫県南部地震対策本部」、大阪・兵庫県支部に現地連絡事務局を設置しました。

本部並びに支部では、被害状況の把握と見舞行動を開始。組合員の皆さんからの「災害給付の問い合わせ」に「給付申請の簡素化と迅速化」に向けて最大の努力を続けています。

災害への給付の内容や手続きについては3・4面を参照下さい。

又、ご意見がありましたら下記の電話でお尋ねください。

兵庫県支部へお見舞い!

▼若見常幹と右・兵庫県支部田治米氏



震災から5日目の22日(月)に、日教済本部の奥村哲雄常務理事、田淵直支部長、さらに28日(日)には、大阪支部の若見常幹幹事以下5名の役職員が兵庫県支部(神戸市中央区の県教育会館)を訪問。支部から見舞金50万円と日用品を届けました。

被災された方は、支部にご相談下さい……………

災害により給付が受けられます 大阪支部 ☎06(768)4910
 本部(フリーダイヤル)0120-371165



害給付で修理・復旧のお手伝いを…

組合員の給付保障へ全力—
手続きの迅速化と簡素化へ!

%以上)	110万円
90%未満)	50万円
66%未満)	16万円
~20%未満)	3~8.5万円
納屋、車庫、門、 の実損) 付との併給はしま	3万円
用地域内に現に居 居の罹災(扶養親	5000円



※一般見舞金の適用基準は右記の通りですが、今大震災では大多数の組合員宅で相当の被害が生じていることが支部に報告されています。支部ではその点に鑑み、住宅災害給付(完全~部分壊)とともに一般見舞金(5,000円)の給付も積極的に受け付けています。大阪教組所属の方は、組合・分会を通して申請書(上記B)を提出下さい。個人加入の方は、同封の申請書にて個人で直接支部に送付下さい。

損害割合	1口あたり金額	最高限度額
66%以上	10,000円	450万円
65~51%	6,000円	270万円
50~36%	4,000円	180万円
35~20%	2,500円	112.5万円
19~10%	1,500円	67.5万円
9~5%	700円	31.5万円
5%未満	500円	22.5万円

A

B

一般見舞金申請について
■上記「総合共済・一般見舞金申請並受領書」より分会毎に申請して下さい。ただし、分会毎にできない場合は個人毎に申請して下さい。

■給付申請書類(総合共済・火災共済とも共通)
簡単になっています……。

住宅災害給付	① 給付申請書(総合・火災共通) ② 申請付属書(被災状況を記入) ③ 被災写真(後日でも可/修復後でも可) ④ 居住証明書(学校長の証明) ⑤ 罹災証明書(学校長、郡市支部長、支部長の証明でも可)
災害見舞金	上記の書類の他/3万円以上の見積書が領収書

※各申請とも時効は2年です。

※ 総合共済一般見舞金適用被災基準

- | | |
|--|--|
| (1) 家屋、その他付属建築物(以下「家屋」という。)に次の被災を受けた場合 | ホ 屋根瓦の落下、または部分的な沈下 |
| (2) 被災の要点、大工等により修復を必要とする次の被災以上の被災 | ヘ 基礎部のひび割れ |
| イ 壁のひびわれ | ト 柱の傾斜、ねじれ |
| ロ 換、障子、戸の開閉が困難になった場合 | チ 地震により火災が発生した消防冠水を受けた場合(ただし被災額が2,000円以上の場合) |
| ハ 家屋の基礎部の地割れにより、家屋に影響が生じていると推定される場合 | リ 堤防等の欠陥により、家屋の床以上に浸水した場合 |
| ニ 家屋の部分的な沈下 | ヌ その他、家屋に大工等による修復を必要とする場合 |

※(災害救助法適用地域) (1月31日現在)

兵庫県—神戸市、尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、明石市、三木市、洲本市、津名町、淡路町、北淡町、一宮町、東浦町、五色町、三原町、西淡町
大阪府—大阪市、豊中市、池田市、吹田市、箕面市 (15市8町)

にも給付されます(下記加入者に)



口 前

総合共済	組合員死亡、配偶者死亡、準会員死亡
団体生命共済	死亡、障害、入院
年金共済	死亡
交通災害共済	*一般傷害(損保分)については給付の対象外です。
子ども養育共済、終身共済、特定疾病共済は規約に基づきお支払いします。	

入院ができなかった時の 特例措置について

基本的には、通常の書類提出が必要となりますが、簡略化、省略化を追求する方向で進めています。

尚、下記の場合には特例措置として取り扱います。

・地震により入院ができない場合

病院の破損により、入院を必要とする被共済者が入院できない時は、「入院を必要とする」旨の医師の証明書によって入院とします。

・行方不明者の取扱いについて

警察や公的機関の発行する「遭難報告書」によって経過期間を問わず共済金をお支払いします。ただし、「念書」が必要な場合があります。

住宅災害給付つき

火災共済いつでも入れます!

- 掛金は、全国一律、しかも民間保険の半分から3分の1。

掛金(年額)は、木造住宅一口70円、鉄筋率適用住宅一口35円。

- 住宅の新旧は問いません。

住宅の新旧にかかわらず損害の程度に応じて給付します。家屋の66%以上の焼失は全焼、65~20%は半焼、20%未満は部分焼という扱いです。

- 風水雪害による住宅災害にも給付。

風水雪害や、車のとびこみなどによる住宅災害にも1口につき最高1万円を給付します。

お申込みは
支部へ一報を
TEL 06-768-4910

こんな時に給付します。

住宅災害



●風水雪害による損害



●航空機の墜落、航空機からの物体の落下による損害



●車両の飛び込み、車両からの積載物の落下による損害

火災



●火災



●落雷



●ガス、薬品等の爆発

左記●●●の他に

- 同一建物の戸室からの漏水溢水による損害
- 噴火に伴う床上の降灰の堆積が著しく(5cm以上)長期にわたり日常生活を営むことができない状態の場合

左記●●●の他に

- 火災に伴う消防破壊・冠水
- 噴火に伴う火山弾・溶岩流により生じた火災
- その他半焼以下の場合で門・塀・垣・物置・車庫並びに風呂の空焚き

住宅災害

日教済

総合共済

住宅災害給付	完全全壊(90)
(準会員も別途あり)	全壊(66%~半壊(20%~部分壊(5%)
災害見舞金	別棟の物置、塀、垣(3万円以上) *住宅災害給付せん。
一般見舞金※	災害救助法適住している住族を含む)

留意事項

総合共済のみの加入者で損壊は、ませんので、予めご了承下さい。

火災共済

住宅災害給付	区分
	全壊
	1級
	2級
	3級
	部分壊
	1級
	2級
	3級

加入者全体の公平を図るため、建設省より指定された「激甚災害地区」内に「火災共済」[総合共済]の新規契約をされる物件がある場合、その建物の全景写真(正面・両側面・裏面)を加入申込書とともに提出ください。場合によっては、加入をお引き受けできない場合もありますので、ご了承ください。

「激甚災害地区」
大阪府：豊中市
兵庫県：神戸市・西宮市・芦屋市・伊丹市・宝塚市・川西市・明石市・津名町・北淡町・一宮町・東浦町・五色町
以上、本年3月末日までの扱いとなりますので、ご注意ください。

◎ご協力ください!

ご契約は

建物契約 と 動産契約

*共済目的は、家屋所有者と居住者の関係で違います。

建物契約

- ・契約できる建物は、組合員、配偶者および組合員と生計を一にする家族が所有する建物(営業部分、営業目的に使用されている部分を含みません)。二親等以内の親族の持ち家で、組合員とその家族が住んでいる家。
- ・同一都道府県内に住んでいる一親等の持ち家などが対象です。1組合員で、貸家(1件)、空家(1件)を含めて4件まで契約できます。
- ・契約できる口数は、延床坪数×6口(1物件 最高300口)

動産契約

- ・契約できる動産は、組合員とその被扶養者が居住する動産(家財)で、4件まで契約できます。別居家族の動産も契約できます。貸家・空家の動産契約はできません。
- ・契約できる口数は、条件(建物の延床坪数、居住人数、世帯主の年齢)によって、それぞれ最高限度(40~150口)が決まっています。4契約合計150口まで。(1物件 最高150口)

- ・持ち家を他人に貸している(貸家契約)
※一部貸も自家と別に契約。
- ・持ち家をやむなく空家にしてる(空家契約)
※月一以上の点検・管理義務が必要
- ・持ち家に居住している建物・動産両方契約ができます。
- ・下宿・寮・間借り・借家に居住している

●動産契約の加入基準

居住人数	建物の延床坪数	世帯主年齢及び加入限度			
		30歳未満	30歳以上40歳未満	40歳以上50歳未満	50歳以上
単身	10坪以上	40口(400万円)	60口(600万円)	80口(800万円)	100口(1,000万円)
	10坪未満	40口(400万円)	50口(500万円)	50口(500万円)	
2人	10坪以上	80口(800万円)	100口(1,000万円)	110口(1,100万円)	130口(1,300万円)
	10坪未満	80口(800万円)	50口(500万円)	50口(500万円)	
3人	10坪以上	80口(800万円)	100口(1,000万円)	120口(1,200万円)	140口(1,400万円)
	10坪未満	80口(800万円)	50口(500万円)	50口(500万円)	
4人	10坪以上	90口(900万円)	110口(1,100万円)	130口(1,300万円)	150口(1,500万円)
	10坪未満	90口(900万円)	50口(500万円)	50口(500万円)	
5人以上	10坪以上	100口(1,000万円)	120口(1,200万円)	140口(1,400万円)	150口(1,500万円)
	10坪未満	100口(1,000万円)	50口(500万円)	50口(500万円)	

死亡・入院



阪神青木駅南

火災共済最高6,000万円^(4/1から)にアップ!

ご契約モデル

建物400□ + 家財200□



600□ご契約の場合

●年間42,000円の掛金で

(耐火構造住宅の場合は、21,000円で)



ここが変わります

☆費用共済金をプラスしてお支払いします

●臨時費用共済金を新設します

火災または住宅災害等の共済金が支払われる場合、200万円（共済金の15%）を限度として、共済金に上乗せしてお支払いします。火災で門、塀、物置等の付属工作物、付属建物が損害を受けた場合にもお支払いします。

●延焼させてしまった場合も補償されます

火災を起こし、第三者に対して損害を与え、見舞金を支払った場合、最高100万円を失火見舞費用共済金としてお支払いします。

●持ち出し家財も補償の対象になります。

共済の目的である家財が、旅行・買い物・通勤・通学等で一時的に持ち出され、火災等の事故で損害を受けた時に、最高100万円を限度に補償します。

☆最高6,000万円まで契約できます

建物4,000万円（400□）、家財2,000万円（200□）まで、あわせて最高6,000万円まで契約いただけます。

その他共済金額とは別枠で次のような共済金があります。

○漏水見舞費用共済金（耐火構造のみ）○修理費用共済金（耐火構造のみ）○住宅火災死亡共済金 ○風呂の空焚見舞金

●いま、ご契約の補償は4月1日事由発生分から新しい補償内容が適用されます。

●建物契約の加入基準（'95/4/1からです）

物件所在地	木造住宅	耐火構造住宅
埼玉・千葉・東京・神奈川	建物坪数×7□	建物坪数×8□
京都・奈良・大阪・兵庫	建物坪数×6□	建物坪数×7□
上記以外	建物坪数×6□	建物坪数×7□

※建物契約の上限は、400□です。

※計算した結果、端数が生じた場合は、切り上げていただいで結構です。

《地震体験記①》

ドアを開けると4階が3階に...

大阪市教組
北大阪支部 丁さん

体の中から突き上げてくる震動が目ざめ、その後の異常な横ゆれの中で、「瞬」しまった！「淡路島や」という思いが走った！前日の地震のニュースに「どうして淡路島で？」という疑問が頭の片隅にあったのだから。

冷蔵庫や書棚が倒れ、物が散乱する中で、懐中電灯をさがすが見つからず、入口近くの部屋の息子に家族四人の靴を確保させ、外に出ることを急ぐ。玄関のドアを開けた直後の息子の「四階が三階になっている」という叫びを聞いた時、背すじに冷たいものが走る。幸い小生の居室は西端で、崩れおちた真中部分に比べ室内の損傷は少なく、



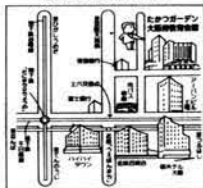
大きく裂け目ができた丁さんのマンション

崩れかけた一階の入口まで一気にかけ出る。外から中央部が陥没した七階建の全容と、無惨にも押しつぶされた乗用車を見た時、崩壊の凄さを痛感した。明るくなってきた時、住民七〇余世帯の安否を確認し、ドアがぶれて未だ脱出できない住人を廊下の格子をはすすずない住人伝うなど、ボウ然としながらも、皆、冷静に行動していた。

☆地震体験記募集します…。支部にお寄せ下さい。（謝礼進呈）

大阪府教育会館 たかつガーデン

たかつガーデンへのご案内



事務所は、互助組合の上の7Fです。気軽にご相談下さい。申し込み来訪者には特製ボールペンを差し上げます。

（事務局一同）



日教済大阪支部

〒543 大阪市天王寺区東高津町7番11号
大阪府教育会館 7F (702号)
TEL 06(768)4910 FAX 06(768)1499

号外
95.2.13

大阪教組ニュース

発行所＝大阪府教職員組合
(日教組) 〒543 大阪市天王寺区東高田町7-11大阪府教育会館4階412号/T E L 06-765-1558 FAX 06-765-1268/発行責任者＝田淵直一/編集責任者＝土屋敏明

第5回栄養職員部研究集会

2月25日(土)10:00～16:00
たかつガーデン(B1 松寿)講演「おおさかの環境・一人ひとりのライフスタイルを見直すために」
実践報告(枚方・高槻・茨城など)

1995年度大阪府教育委員会関係一般予算(案)

1、教育委員会予算一般会計(単位:千円)

	95年度当初予算	94年度当初予算	対前年度比
総 額	701,818,400	668,035,100	105.1%
人 件 費	628,637,196	608,047,898	103.4%
建設事業費	46,509,592	34,204,343	136.0%
その他	26,671,612	25,782,859	103.5%

2、定数関係

①小学校	26,371人(41人減)
時間講師	1,120時間(体育軽減256時間、初任者864時間)
②中学校	16,434人(114人減)
時間講師	2,637時間(夜間学級228時間、体育軽減200時間、初任者546時間、教科調整等1663時間)

③養護学級

小学校	1356学級(11学級増)
中学校	627学級(6学級増)
重度・重複加配	195人(総枠確保)

3、予算単価等

①旅 費	小・中 50,330円
	高・養・高専 63,210円
②修学旅行	小 9,080円
付添旅費	中 25,750円
	高・高専 30,800円
③時間講師	週1時間あたり 9,800円(前年度比500円増)
通勤費	月額 12,000円限度(1,000円増)
	別途 2,500円限度に特別加算

4、第6次改訂計画

1、指導方法の工夫など個に応じた教育の展開	小 318人(210人) 中 285人(191人)
2、登校拒否対応	中 36人(24人) 研究所等 12人(12人)
3、通級指導	小 60人(40人) 中 2人(1人)
4、外国人日本語指導	小 42人(28人) 中 12人(8人)
1～4については文部省からの配分により変動	
5、生徒指導主事の配置	小 33学級以上(現行34)
生徒指導主事の複数配置	中 31学級以上(現行32)
6、養護教諭の複数配置	31学級以上(現行32)小16(33)中0(1)
7、事務職員の複数配置	小 28学級以上(現行29)
	中 22学級以上(現行20)

5、大阪府単独措置

①小学校専科教員	現行どおり
②体育専科	14人(現行21人)
③進路指導教員	190人(現行177人)
	(町村1人、4校以上の市2人、5校以上の市3人、10校以上の市7人、15校以上の市10人、20校以上の市13人)
④大規模校加配	31学級以上、現行どおり
⑤産(育)休プール定数	103人、小47人・中56人(120人)
⑥事務職員の産・育プール制の継続	小15人・中16人
⑦養護学級体育軽減	16週維持
⑧養護教諭の妊娠時の職務軽減	高校にも拡大(8週・1学期のみ)
⑨栄養職員の新規採用	5年連続採用
⑩部活動指導協力者派遣事業	現行40校を維持
⑪免許認定講習	4講座実施予定
⑫事務職員・栄養職員の育児休業に伴う引き継ぎ日を新設	
⑬産・育休の引き継ぎ日は、勤務を要しない日及び休日を除く	(産休3日、育休2日を実質保障)
6、同和加配教職員(国+府)	1,136人

被災転入生受入れに対応する
教職員の予算を確保大阪教組の具体的な要求が
大きく反映された。(94年
12月1日、府教委交渉)府教育予算
第6次定数で
253人の定数増
進路指導教員
190人配置する

た、なお、被災児童・生徒

の受入れに対応するための教職員の確保については、40人学級が維持できるような予算の確保がなされている。府単独措置については、進路指導教員の配置増を措置することができた。定数としては、産(育)休プール定数は、88年72人数を確保して以来7年ぶりに減少となった。過員の緩和傾向の中で財政からの厳しい見直しにより大幅減も予想されたが、昨年度比17人の減にとどめ、193人となった。また、事務職員の「産

休(育休)フル制度」は引き続き維持。栄養職員については、5年連続新規採用が行われる。養護教諭の妊娠時の職務軽減最高8週(1学期のみ)臨時講師の措置については、義務制については昨年度より措置されていたが、高校にも措置されることとなった。

産休、育児休業に伴う引継ぎ日で改善

産休、育児休業に伴う引継ぎ日については、あらたに「勤務を要しない日及び休日を除く」とされ、産休については2日、育児休業については3日が実質保証されることとなる。

学校事務職員、栄養職員の「育児休業にともなう引継ぎ日」については、来年度より措置(3日)されることとなった。

が新しく措置。養護教育

は、通学時間の短縮をはかるため、スクールのバス

増車(4台)がなされる。

教職員福利厚生としては、人間ドック検診の拡大に対応する予算が組まれている。

府立学校教職員へは、健康診断項目に大腸がん検診などが新規追加される。体育スポンズでは運動部活動指導者の派遣について、中学校・高校で40校40人と現状維持させることができた。

国際交流年の意義を継承、発展させるため、また学校5日制に対応し、府の弥生文化博物館、近つ飛鳥博物館などの社会教育施設(花館)の開催について予算計上。また、いじめ・登校拒否対策として、いじめ相談部緑地都市緑化植物館の無料開放(小・中学生対象年間通じ平日含む)がなされる。

《詳細は左の資料参照》

府の社会教育施設を無料開放に

地震関連で入学金など免除

では、通学時間の短縮をはかるため、スクールのバス

増車(4台)がなされる。

教職員福利厚生としては、人間ドック検診の拡大に対応する予算が組まれている。

府立学校教職員へは、健康診断項目に大腸がん検診などが新規追加される。体育スポンズでは運動部活動指導者の派遣について、中学校・高校で40校40人と現状維持させることができた。

国際交流年の意義を継承、発展させるため、また学校5日制に対応し、府の弥生文化博物館、近つ飛鳥博物館などの社会教育施設(花館)の開催について予算計上。また、いじめ・登校拒否対策として、いじめ相談部緑地都市緑化植物館の無料開放(小・中学生対象年間通じ平日含む)がなされる。

《詳細は左の資料参照》

教 え 子 を 再 び 戦 場 に 送 る な

被災受験生に「配慮」措置獲得 全国で転入生24165人

堺市でも四〇〇人を越える

日教組現地対策本部からによると、二月六日午前一時現在、震災により疎開した子どもの数は二二二〇人。兵庫県内の異動が五九〇四人、大阪が六二五五人（九日現在では六六二七人）、京都が一〇五五人、岡山が八五三人、奈良が六九二人など四七都道府県すべてにわたっています。その後二月一〇日午後五時現在では、更に増え全国で二四一六五人になっています。堺市においても、四〇〇人を越え、まだ一日一〇人以上の転入生が続いています。

被災転入者の合格者は外数に

被災生徒に関わる高校入試上の対応について、府教委は大阪教組との協議で次のことを明らかにしました。

まず、提出書類等については弾力対応とし、定員の扱いについては被災生徒の合格者は募集定員の外数とすることです。例として、定員が四〇〇名の場合、例えば大阪の生徒五〇〇人受験で合格ラインが定員です。兵庫転入生受験が一〇人あるとし、合格ラインを満たしている生徒がその内七人であると、合格者は四〇七人となります。

試験時間延長や受験料などの免除

また、「合格者は募集定員の外数」が兵庫の被災生に限られていたことから、大阪の被災受験生への支援措置獲得に全力を上げて結果、試験時間について通常の場合の約一・三倍とし延長が認められました。併せて要求し、受験料・入学金・授業料免除についても、被災の程度に応じて措置されることになりました。勿論これらの措置については、兵庫の被災生徒にも適用されます。

日教組堺へ転入生の保護者の方からお礼の手紙が届きました

日教組堺は市教委に対し、阪神大震災による転入生に対する教育援助を要求する一方、コクヨ労組と大阪教組の協力を得て市教委を通じ転入生へ、学用品を届けています。このつど、転入生の保護者の方から日教組堺へお礼の御手紙が届きましたので、紹介します。

謹啓

朝夕の冷え込みの厳しい毎日でございます。皆様にはお変わりありませんでしょうか。

先日は学校を通じ、私共娘に心のこもったお見舞品の数々を頂戴し、真にありがとうございました。当初は恐怖で食事もとれずずっと青い顔でうつむいてばかりおりました。娘も新しい学校でお友達もでき、やっと笑顔がもどって参りました。

まだまだ神戸で不自由な生活を強いられている子どもたちのことを思うと胸が痛みますが、これから少しずつがんばっていきければ、と願っています。

本当にありがとうございました。ありがたく大切にに使わせていただきます。

教育復興ボランティアに申込者続出

兵庫の教職員の代替要員として日教組・大阪教組の呼びかけに応え日教組堺が募集した「教育復興ボランティア」は、組合員の方々の熱意によって多くの方々の参加希望がありました。

日教組堺は泉州や松原、南河内と共に西宮市の用海小学校を担当しています。今後長期の支援活動も予想されますのでボランティア参加希望の組合員の皆様の登録を引続き要請します。すでに登録されている組合員の方には、執行部で日時人数の調整ができ次第、活動マニュアル等個別に連絡させていただきます。

阪神大震災に関わる電話法律相談の実施

今後の借地・借家権はどうなるのか、家のローンや給与はどうなるのか、等の生活・法律相談を実施しています。
期間 1月26日～2月28日
時間 午後1時～午後4時
電話番号 06(354)9477
担当 大阪社会文化法律センター

速報

1995.2.17

白ボク 号外 (No. 35)東 大 阪 市
教 職 員 組 合発行 東大阪市教職員
組合情宣部 東大阪市
永和1-10-23 721-9761西宮市立平木小
学校への連続支
援ボランティア
(1泊2日)に
ご協力を**避難所学校支援連続ボランティア****「日教組の先生」大活躍**

平木小学校ボランティア報告(弥刀小学校千葉修一さん)

2月7日(第1日目)

- 10:00 平木小学校に到着、本部で受け付け。同じ職種であるので、同校の事務職員さんにあいさつ。
- 12:00 リヤカーで水、ウーロン茶、カップ麺などを積んで、北口町、高木西町方面で配布。(ガス、水道などは出ていない様子。家屋の倒壊などが多い)
- 13:00 昼食(弁当持参)後、トイレ用の水くみ。
- 13:25 城ヶ堀町、中前田町付近へ、リヤカーで救援物資配布。(ガス、水とも出ず、家屋の倒壊など多数)
- 14:30 学校へ戻る
- 14:40 救援物資到着(ペットボトルの水、ウーロン茶、おにぎり、翌朝用のパン、ジャム、バック入り惣菜・2人に1個程度、みかん、りんご)搬入場所の家庭科室へ運ぶ。
- 15:00 前日の担当者を引き継ぎ後、水汲み(80ℓ入りのポリバケツにプールの水を汲み各階のトイレ前へ)
- 15:19 生活用品などの救援物資到着。
- 15:30 校舎の周辺を1時間ほど清掃。
- 16:30 避難している人たちの夕食配布の準備。
- 17:00 夕食配布(長椅子に食品を置き順次渡していく)
- 18:00 配布終了
- 18:15 ボランティア夕食(おにぎり2ヶ、カップ麺)
- 19:15 トイレの水汲み
- 22:00 就寝(会議室床に断熱材、毛布を敷き、寝袋で寝る)

2月8日(第2日目)

- 6:30 起床、水汲み、布団片づけ
- 7:00 朝食(八尾教組からの差し入れの簡易コンロで炊いたご飯と残りの惣菜)
- 7:30 昼の炊き出し(ぜんざい)用の餅のカビとり。
- 9:30 ボランティアのミーティング
- 10:00 水汲み
- 10:30 リヤカーで水、ウーロン茶などを積んで出発(大杜町、広田町、能勢町方面)
- 12:10 学校へ戻り昼食(カップ麺)
- 13:30 水汲み、ゴミ収集車の手伝い
- 14:00 救援物資到着
- 15:00 本日の担当者に引き継ぎ
- 15:30 本部へ挨拶し、学校をあとにする。



日教組教育復興支援ボランティアは、大阪教組を中心に、福岡、東京、岡山、など全国10県教組が、神戸市15校、西宮市5校の学校の救援にとりくんでいます。東大阪市教組と八尾教組は西宮市立平木小学校を担当。

毎日3名の組合員が、トイレ用の水汲みや食料品の配布、救援物資の搬入、清掃などに活躍しています。

平木小は、児童数約400名、2名の児童が亡くなりました。1月31日から授業を再開、午

阪神大震災で避難所となっている小中学校では、自らも被災した教職員が教育復興と避難所運営に奮闘しています。日教組は大阪教組組合員を中心に神戸・阪神間の各小中学校に、一泊二日のローテーションで教育復興支援ボランティアを毎日派遣。東大阪市教組は西宮市立平木小学校を受け持ち、2月5日から一日も欠かさず組合員が救援活動に全力でとりくんでいます。

**救援物資配布、水汲み、清掃など
一泊二日で教職員支える**

前中2時間だけの授業に7割の子どもたちが登校しています。ボランティアはゼンセン同盟や大阪、愛知、東京の大学生など約30人。東大阪・八尾の組合員は他のボランティアや避難している人たちから「日教組の先生」と呼ばれています。

12日には、岩田西小学校から提供していただいたリヤカーを持っていきました。このリヤカーは倉庫の奥に眠っていたものを管理職や校務員さんが空気を入れ油を注して直してくれたもので、避難所周辺の人々に物資を配るのに大活躍しています。

ボランティアはまだ続きます。続けることが求められています。多くの組合員の参加を強く訴えます。

統一と団結の力で要求を前進させよう

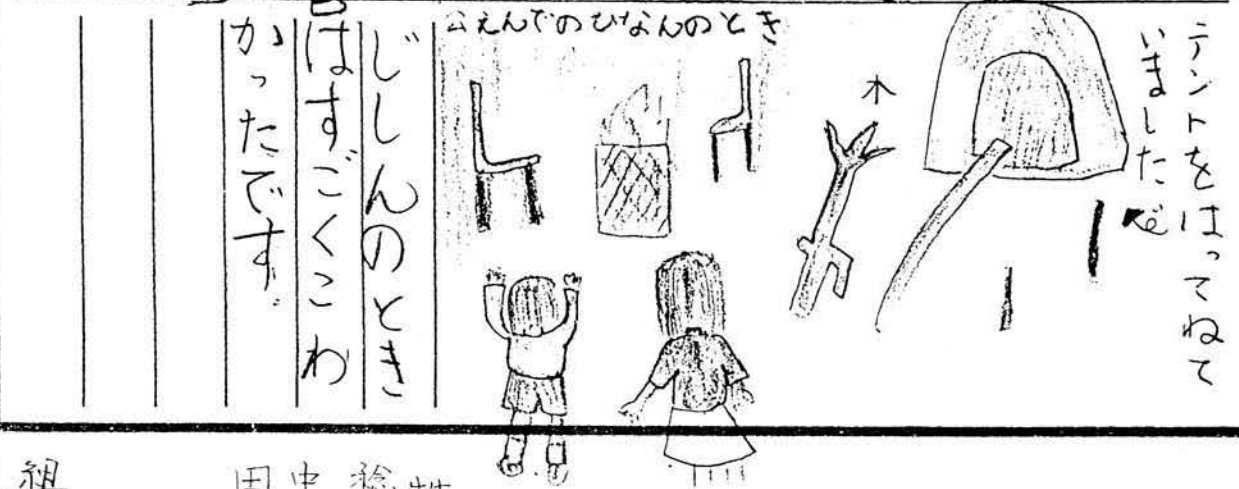
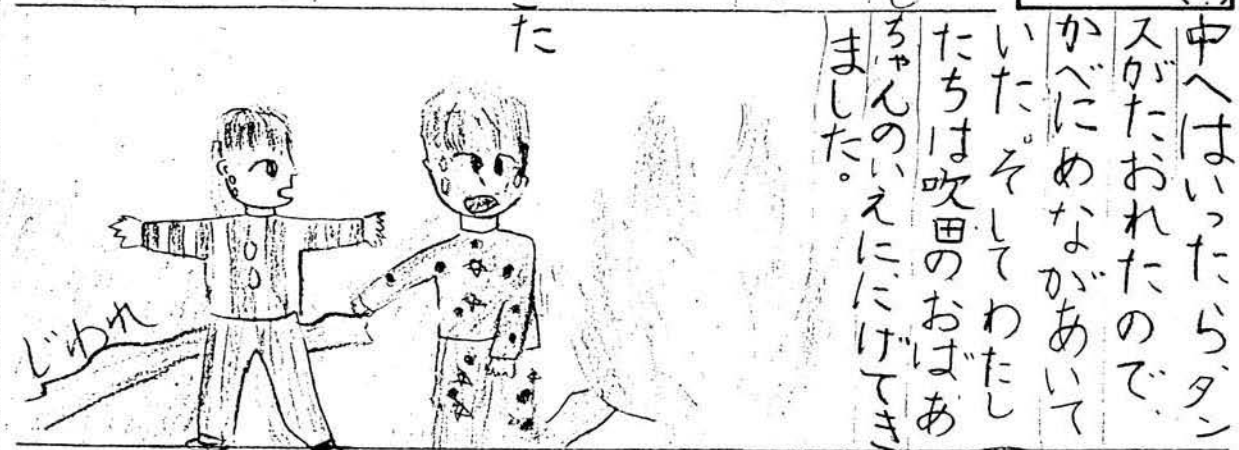
じん新聞

発行者 高木まゆ

95年2月17日

神戸にすんでい
た時夜中に起き
たらぐらぐらと物
がいっぱい落ちてき
ました。そしてお父
さんは下の人が
ダンスにはさま
れたみたいで助け
にいきました。
その後みんなで公園に
いけようと思いました。
その時そこかたわ
れてきました。こ
わかった。外に

出るとまわりが
いわれしていまし
た。おたしのおうち
すぐ近くの見えて
いるところで火事
がありました。そ
して夜はお母さん
たちが公園にもって
お米でおにぎりを
つくってたべまし
た。わたしはお友だ
ちといっしょにねた
次の日は学校に
ひなんしました。そ
してわたしたちは
かたむいた家の



吹田市立吹田第二小学校

3年1組

田中 稔 姓

154

95.2.22

大阪教組ニュース

発行所＝大阪府教職員組合
 日教組 〒543 大阪市天
 王寺区東高津7-11大阪府
 教育会館4階412号 TEL
 06-765-1558 FAX 06-765-
 1268／発行責任者＝田淵直
 ／編集責任者＝土屋敏明

連合大阪・95春闘・総決起集会

日時 3月5日(日)午前11時
 場所 扇町プール
 主催 連合大阪
 ■1割の動員です



登下校時の安全指導も担当する大阪教組の組合員。(福住小学校)

長期化する教育復興

組合員ら救援活動でがんばる

阪神大震災

大阪教組は、連合大阪の仲間と共に、1月23日から2月5日まで「救援ボランティア」として、のべ106人を派遣してきた。そして、2月6日から3月5日までの1ヵ月間、左記の避難所となっている学校11校に「教育復興促進ボランティア」として連日3名1組を1泊2日の体制で派遣している。のべ2千4人の組合員が、被災した人たちの世話活動や避難所学校の教職員の支援を行なっている。(ボランティア参加者の「職安」確保と保険の加入もしている)

2月15日、その中の4校を訪問した。4校の避難所の状況を報告する。摩耶小、2月になって飲める水道水になった。1学年に1教室を確保して、2部授業を開始している。福住小、水道水が飲用にならず給水車に頼っている。

午前と午後、1時間ずつのレハで授業をしている。稗田小、約千人の避難所の人たちは、全ての教室・体育館・グラウンドで生活している。上野中、2月から午前中の3時間の授業を行なう。中の受給生は、午後も自習の生活必需品・食料・仮設の風呂等は確保されつつあるが、教職員は被災者に対する避難所業務と学校業務、そして自らの被災処理等で疲弊困窮している。そんな中で、大阪教組の支援活動により、勤務シフトが緩やかになり「おかげで助かった。みなさんが来てくれたなかったら教職員は倒れていたかも」と、大変な支援を求められている。稗田でボランティア活動中、大阪教組の森岡美貴さんは「被災者同士のトラブル処理を含め、何かに何かにねいに対応している現地の教職員には、頭が下がる。被災者の中には長期にわたる避難所生活の疲れから、ちょっとしたことでいざこざも起き、教職員の疲れも相当なものである」と語ってくれた。

大阪教組のボランティア派遣先11校

担当ブロック	学 校 名	住 所
三 島 A	原田中学校	灘区船通寺通
三 島 B	段上小学校	西宮市段上町
北 河 内 A	西郷小学校	灘区大石東町
北 河 内 B	西宮西高校	西宮市建石町
中河内・豊能	平木小学校	西宮市平木町
中河内・豊能	平木中学校	西宮市平木町
南河内・泉州	海用小学校	西宮市海用町
高 教 組	上野中学校	灘区国玉通
市 教 組 A	福住小学校	灘区福住通
市 教 組 B	稗田小学校	灘区岸地通
市 教 組 C	摩耶小学校	灘区畑原通

500人分を配布して回る。摂津・高槻 タマゴ200個を

方方 牛乳30本を購入して被災した人たちに配布。市教組(東園) 液晶ビュ

長期化する避難所生活
 1月17日から1ヵ月以上が経過した。24時間体制の避難所生活も長期化する中



職員室の中で受付業務をする組合員。校内放送で被災者への連絡も。(稗田小学校)



様々な角度から意見が発表された。

2月10日、大阪ササバレスで日教組21世紀ビジョン委員会主催「いま、開かれた教育の世紀へー日教組の挑戦」近畿・東海・北陸ブロック「公聴会」が200名の参加で行われた。

日教組21世紀ビジョン委員会
 大阪での公聴会に200名が参加

購入して避難所に配布。大東、自派温泉から湯の提供があり、お年寄りや身体の不自由な方の衣類の着脱に協力をしてよろこばれた。



職員室の中で受付業務をする組合員。校内放送で被災者への連絡も。(稗田小学校)



様々な角度から意見が発表された。

「表計算もボタンひとつ」
 2月9日、ツイン21にて定員の2倍の申し込みに抽選で選出された参加者は栄養職員部の専門性を生かした講座を大いに楽しんだ。

育現場、父母PTA、労働団体、報道関係者、教育行政・管理職経験者、在日外国人の立場、運動団体、経済・商工団体の立場等、様々な立場・角度からビジョン委員会の中間報告書について意見発表がなされた。その後、質疑・討論が活発に行われた。今回の公聴会の報告書は2月末ごろに発行予定である。

大阪教組学校事務研究会
 大阪教組学校事務研究会が主催された。今集会で第5次を迎えた事務研は、3・4日の両日ともに阪神大震災で被災された地域から、

第5次 大阪教組 事務研
 これからの学校事務が見えてきた
 2月3日・4日、大阪市教育青年センターならびに府立青少年会館で「今年こそ創り直そう大阪の学校事務」をメインテーマにし、大阪教組学校事務研究会が主催された。今集会で第5次を迎えた事務研は、3・4日の両日ともに阪神大震災で被災された地域から、

また、被災ボランティア等で多忙を極める中から270名を超える学校事務職員が結果として大阪の学校事務労働を確立していくことと意欲に満ちた討論が展開され、新たな段階に入る事務研の歩みを見出した。3日の全体会では、門川副委員長と加藤事務職員部長のあいさつの後、白井事務研実行委員長から基調提議が行われた。そして、東京都立大学助教授の大田直子さんより「英米の教育事情と学校事務」をテーマに記念講演が行われた。4日は、4種類の分科会に分かれて議論がなされた。

教え子を再び戦場に送るな!!

復興ボランティア継続

日教組・大阪教組 3月末までの派遣続行を決定

守口教育

第888号

1995年3月1日

発行所

守口市教職員組合



裏面

●阪神大震災被災者救援
チャリティコンサート
神戸市立西郷小学校 校内

西郷小6室で授業再開

被災者九百人も校内で避難生活

日教組・大阪教組は「教育復興ボランティア活動」を被災が大きく教育復興支援の必要な4校に縮小して継続することを決定しました。

西郷小は、北河内と三島ブロックとで活動を継続します。西郷小では一学年に一教室の割当てで、全児童

4百19名中2百名の登校を得て今週より授業を再開しました。給食も簡易給食です。守教組のみなさんの継続支援を訴えます。



西郷小の校舎と運動場。校舎には被災者が、運動場には車が。

西郷小の玄関のドアを開けたすぐそこから4階まで体育館にも避難者の方々がいっぱいでした。二月一六日現在千五百五十名、また、すぐ隣の幼稚園にも、近くの公園にも青いテントがたくさんならんでいました。震災からちょうど一カ月の二月一七日に学校の水道は復旧したのですが、まだ飲料水にはでず、水圧が低いのでトイレにも使用できない、そんな不便な避難所生活を強いられています。暖房器具も使えないため、熱をだし職員室に体温計を借りに来られる方もおられました。

西郷小での教育復興 ボランティアに参加して

声があり、学校の周辺にも壊れた家々を片付ける復興の音が聞こえていました。

(錦小) 中 白田 善昭
焼け焦げたビル、傾いたマンション、ベチヤンコに

私たちの活動は、主に給水と夜間の電話番でしたが、西郷小学校の先生方も毎日3、4名ずつ職員室に泊まり込んでいろいろなお世話をされていきました。そんな中にも、運動場では子どもたちの元気に遊ぶ

崩れた家々……道路はひび割れて段差がで、空気中の埃が気管を刺激する。これがあの神戸だろう。北にそびえる六甲山脈、青い空は以前のままだのに、神戸へ通勤していたことがある私は、あまりのおどろ



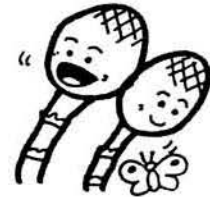
西郷小の北を通る阪神電車は寸断され、落ちたケタが道路ごとに撤去された。写真の焼けたビルと撤去された線路は西郷小の東に百に足らずの地点です。

2個と牛乳、夜はおにぎり2個とウインナーやシュールマイ等のおかずが入ったお弁当が配られます。暖められない避難所での冷たい食事はお年寄りには辛い食事といえます。そんな状況下においても給水や風呂の手伝いをしている私に「寒いのにありがとうな。」と、声をかけて下さる人が多く、胸がいつぱいになりました。長期にわたる応援体制の確立と心のこもった対応が必要であると痛感しつつ、大阪へ帰りました。

(藤田小) 坂口 佳代子

訓練から、教育・共生へ

阪神大震災で避難所となった小中学校では、多くの教師が泊まり込んで住民の世話や生活の相談に奔走した。教科書もマニュアルもない現実に苦闘した日々。お題目ではない「地域に開かれた学校」を実感し、改めて子供の存在の大きさをかみしめた。「してあげられたことより教えられたことの方がずっと大きかった」〈教師のサラリーマン化〉が言われる中、必死に動いた先生たちからは「自分の中の何かが変わった」との思いが伝わってくる。



3月11日《読売新聞・夕刊》より

歌垣小学校だより

震災ボランティア情報

号 外 95. 3. 10

この度の阪神大震災に際し、歌垣小学校からも教職員の代表として避難所となっている西宮市立平木中学校へボランティア活動に参加しました。

2月10日から11日にかけて福中先生が、3月2日から3日にかけて古谷先生が参加しました。ボランティア活動をしてきたようすや現地のようすを子どもたちにも伝えようということで、福中先生、古谷先生とも朝会の場で10分ほど話をしました。

このようすを少しでも、保護者のみなさんにも知っていただこうと学校だよりの『号外』を発行させていただきました。

— 福 中 満 —

2月10・11日の2日間、阪神大震災被災地のボランティアに参加する機会を得て、西宮市の平木中学校に行きました。急速、3年生の子どもたちが提供してくれた文房具やおもちゃもリュックに入れて持っていきました。実際に現地に行ってみると、その災害のすさまじさに圧倒されました。事前にテレビや新聞などで得ていた情報では気にならなかった多くの問題が次々に見えてきて、考えさせられることが多くありました。今度の体験は自分の考えや生き方を根底から揺さぶるような大きな出来事であったように思います。

中でも特に考えさせられたことの一つは「ボランティアとは何か」ということでした。この中学校では十数人のボランティアの人たちが二百人を越える被災者の世話をされています。その中心の一人であるMさんは、会社から二週間の休みをとり、単身西宮に来てたまたまここを通りかかったという若い女性でした。重要なことは、今の多くの被災者の生活がこのようなボランティアの人達の活動によって成立しているという現実です。つまり私たちの生活にボランティア活動は必要不可欠なものだということ。それを、今度の震災は私たちに教えているようです。私たちはややもすると金銭の価値観を優先させ、仕事の忙しさに追われ余裕のない生活を送りがちです。それは決して自分を大切にしていることにはならない。震災に苦しんでいるお年寄りを見るたびに、そんなことを強く感じました。◆ボランティアとは『新たな社会システムを作り出す、人々の自発的連帯活動』◆

— 古 谷 知 一 —

3月2日朝、川西能勢口から阪急宝塚線で宝塚まで行き、そこからは今津線で西宮北口へ。震災後初めて行く西宮である。宝塚に近づくにつれビニールシートを被った家が目の中に飛び込んでくる。あの立派な宝塚大劇場も解体中。今津線の電車の窓からは、原型を止めない。くらくらに倒れてしまった家屋の山。西宮北口を出て平木中学校までの約10分、わたしは言葉で表せないくらくらの重く暗い気持ちで歩いていた。

平木中学校周辺は、ライフラインのガスだけがまだである。しかし、水道は復旧したばかりで、飲料水としてはまだ使えない。体育館のフロアにいる被災者たちは、寒い中、段ボールで仕切っただけのプライバシーが守られていないなかでの生活である。

昼間は子どもたちは学校（学校といっても現実には、学習の場でもあり、生活の場でもあり、その隔たりがないのである。）に行っているの、静かに時間が過ぎていくのを待っているように感じられた。そして、小学生が4時前に帰ってきた。子どもたちが、ボランティアのお手伝いをしてくれたり、大きな声を出して遊んでいた姿をみる。

子どもたちの明るさと元気さから、生きる力・生きていく力の大切さを教えられるとともに、わたしたちが大切にしなければならない「いのちの教育」について考えさせられる。

こんな形で、子どもや保護者にアピールしていく方法もあります。歌垣小分会では、ボランティア活動について『学校通信』で発行しました。地域保護者に学校がやっていることを知らせていくことは、「地域に開かれた学校」へ進めていく第1歩ではないでしょうか。

(143)

ボランティア派遣を延長します

日教組 25校の避難所を継続



豊中第6中学校の体育館で夕食を食べる被災者
(広報「とよなか」3月号より)

卒業式は体育館が使えるように 豊中の避難所

豊中市内では、2月28日現在、52施設に約1000人の被災者が避難所での生活を送っている。(そのうち15の小中学校に約400人の人たちが、体育館や教室での生活) 15校の中で4校が体育館での避難所生活を送っていたが、被災者の自治組織で話し合った結果、「今まで1カ月半も学校では体育の授業やクラブ活動でもガマンを我慢して

てきた。卒業式では体育館を使えるように協力をしよう」との話でまとまった。豊中教組は、この15小中学校にボランティアを連日

「震災遺児」に奨学金 兵教組

日教組は、2月28日、教育復興促進ボランティア派遣単組の代表者会議を行なった。2月6日以降、3月5日までの1カ月間、日教組は25校の避難所となっている学校にボランティアを派遣してきた。(25校の内、大阪教組が11校、兵教組・兵高教は別途に17校に派遣) 3月6日以降の派遣については、担当単組を全国に広げつつ継続・延長することを決定した。これは、派遣先の学校から「大変助かっている」との延長要請もあり、日教組現地対策本部

派遣をしている。豊中教組組合員の中には、全壊した自宅が17人、半壊が21人、軽傷5人という被害も出ている。そんな状況の中で、卒業式の準備や学年末のとりくみなどに向けて奮闘をしている。

兵庫県教組・兵高教に続々と集まっている。兵教組はそのカンパをもとに、約4万人の被災した小・中・高校生にリュックサックを贈った。さらに、避難所となっている学校に2台ずつ(計千台)の自転車も寄贈している。そして、地震で保護者を亡くした県内の公立小・中・高校に入学又は在学中の子どもたちを対象とした奨学金「兵庫県南部地震遺児奨学金基金」の創設などが決定され、新聞紙上でも報道されている。

虹・夢・未来をつむぐ
阪神大震災被災者支援

日本人と在日韓国人・朝鮮人
高校生の共同出演

チャリティコンサート (収益は義援金)

3月19日(日) PM1:00~
中之島中央公会堂
(地下鉄・京阪 淀屋橋駅)

入場カンパ 一般1,000円 (中・高生700円)

出演
◎大阪府立淀川工業高校
プラスバンド部
(全日本コンクール最優秀賞)
◎大阪朝鮮高級学校

主催 チャリティコンサート実行委員会
問合せ 06-767-0287 06-311-3310

**子どもたちから
そして
親からの手紙**

大阪府教職員組合へ
 ぶんぼうぐありがとうございます。
 大切につかせていただきます。
 わたしは7さいです。
 いもうとは3さいです。
 いもうとといっしょにつかせて
 もらいます。
 じしんこわかったです。
 でもすいたにきてげんきになりま
 した。
 いもうとはらんぼうです。
 だからこわいです。
 すぐおかあさんはへんなことゆっ
 てわらわせます。
 わたしはおともだちがしんぱい
 すが、じゅぎょうちゅうとかがっ
 こうにいてるときはぜんぜんわす
 れてしまいます。
 ほんとうにぶんぼうぐありがとう
 ございます。

Y



文房具類ありがとうございます。
 た。足りない物が多かったので、
 うれしかったです。この地震に負
 けずにがんばります。

芝谷中学校2年 H

ノート、シャープペン、しん、け
 しごむ、ありがとうございます。
 ノートがほしかったので、うれ
 しかったです。

学校は友達も多くできたのし
 いです。地震にまけずにがんばり
 ます。

北日吉台小学校5年 H

えんぴつやノートなどどうもあ
 りありがとうございます。私はしん
 に負けずがんばっていきます。
 本当にどうもありがとうございます。

家族だいひょう K

前略

この度の震災から早いもので80日が過ぎて、季節は早春となり、桜の花も校庭で咲き始めました。

大阪府教職員組合の皆様には、大変お世話になりました。その上、多額のお見舞金をお送りいただきありがとうございます。

上中ファミリーKもただ今では、196人と一時の頃よりはずいぶん少なくなりましたが、まだまだ行く先の決まらない方々でこの先どうなるのだろうと案じております。そういった中でお送りいただきましたお見舞金の使い道と致しまして、ボランティアでカレーライスやシチューと、炊き出しを試みてまいりました。

その都度、皆で暖かいお心使いに感謝をしながらいただきました。今後も大阪教職員組合の皆様のお心にそうよう上中ファミリーKの皆のためにと努力して行きたいと思っています。

乱筆乱文ではございますが、と
り急ぎ御礼と御報告まで。
ありがとうございます。

1995・4・7

上中ファミリー Kボランテ
ニア一同

謹啓

朝夕の冷えこみの厳しい毎日でございます。

皆様には御変りありませんでしょうか。

先日は茶山台小学校を通じ、私共娘に心のこもった御見舞品の数々を頂戴し、真にありがとうございます。当初は恐怖で食事もとれず、ずっと青い顔でうつむいてばかりおりました娘も、新しい学校で友達もでき、やっと笑顔がもどって参りました。

まだまだ神戸で不自由な生活を強いられている子供達のことを思うと胸が痛みますが、これから少しずつがんばっていつてくれれば、と願います。

本当にありがとうございます。
ありがとうございます。

まずは御礼まで
2月6日

K・R
K・F
K・Y

各地から梅の便りが届く頃となりましたが、皆様お元気でいらっ

しゃいますか。

1月17日の大地震から早1ヶ月過ぎましたが、未だに夢の中にいる様な感じにとらわれております。

就寝中だったこともあり、突然起こった大地震でたたき起され、暗闇の中、家族の安否を確認するのがやっとで4人でふとんを頭からかぶり、何度もおそつてくる余震にふるえておりました。戦場のような神戸から木曜日に能勢にたどりついた時は、ほっとして気が抜けた様になったのを覚えております。

東ときわ台小学校に仮入学を許され、暖かい雰囲気、親切な先生方、元気で気持ちのいい子供達に会え、息子の地震の恐怖が、日毎に薄らいでいくのが親としてもわかり、うれしいものでした。

元の六甲の高羽小学校は、避難所になつており、これがあの6年間お世話になった学校かと、にかには信じられませんでした。落ち着いた静かな学校、親切な皆様に囲まれた誠は恵まれていると感謝しております。

しかし、2週間後に高槻の杜宅に入る事が決まり、急な事で、皆様に充分なお礼も御あいさつもで

きないまま来てしまいました事、お許し下さい。再びの転校で通学1分の北大冠小学校への道の遠かつた事！

教頭先生、吉村先生よりお電話をいただき、今はやっと新しい学校で残り少ない小学校生活を楽しみ様になりました。また途中になつておりました絵を東ときわ台小学校の思い出として完成させると描きましたので、お送りいたします。

急な転入転出、また転校した後まで、ご心配いただき、ほんとうにお礼の申し様もありませんが、いつまでも、人にやさしい素晴らしい雰囲気を持った小学校であられます様、又、皆様のご活躍をお祈り申し上げます。

M

私は今回の震災で、大阪の西区の西船場小学校の1年で、子供がお世話になつていっているものです。
兵庫県から臨時転校してきた子供に学用品等、御組合やコクヨ労働組合の方々に大変よくしていただき、子供自身も喜んで3学期をおくらせていただいております。

近隣年とはいえ、私自身、何も今まで他の人々の為にしていませんでしたし、今は何もできませんが、人々のあたたかさにはげまされる毎日です。

ブルーの袋に書かれた言葉に、がんばらなければサポーターに申し訳ないノ気持ちで一杯になりました。

本当にありがとうございました。

T

先日は、お見舞品を頂きありがとうございました。子供たちもすっかり元気になり、友達も日一日増え、楽しく学校へ通っています。私たちには、まだ避難する場所があり、幸せでしたが、神戸に残された友達は、まだまだ不便な生活をしていると思うと、とても心が痛みます。

少しでも早く、活気ある神戸に戻ることを祈っています。

多くの被災者が他府県に避難していますが、少しでも皆様のお力をおかりできれば幸いです。

本当に色々のご援助、感謝しております。被災者も生きるため少しずつ元気になっています。見

守ってあげて下さい。
まずはお礼まで

S

寒い日が続いております。私たちは神戸から避難し、長男がみどり小学校へ通学させていただいております。学校よりノート等いただき、すぐにお礼をと思いながらも、大変遅くなり申し訳ございません。皆様のお心遣いうれしく、心より御礼申し上げます。ありがとうございます。子供は1年生で怖い体験をしたうえに転校となり心配しておりましたが、元気に学校生活を送っております。震災から1カ月が過ぎ、このようなことが二度とないようにと願っております。では失礼いたします。

U

拝啓、早々に心からのお見舞の品を頂きまして、誠にありがとうございました。

皆様方に感謝の気持ちで一杯です。予期せぬ大災害にとまどい苦しみましたが、生命が残っておりますのでありがたく思っております。皆様方に支えられて、また神戸の

復興に務めたいと思っております。
あたたかいお見舞いを本当にありがとうございます。ありがとうございました。

敬具

T

寒い日が続いております。お元気で過ごしてでしょうか？

阪神大震災の被害を受けた皆様には、心よりお見舞申し上げます。私たちも少なからぬ被害をうけましたが、幸い家族4人けがもなく元気にすごしております。どうかご安心ください。

なお当分の間、下記の所に住むことになりましたので、お知らせいたします。

最後になりましたが、この間多くのお見舞や励ましをいただき、心強い思いをいたしました。深く感謝申し上げます、ありがとうございます。

やっと落ち着いて生活できるようになりました。

色々とお心づかいいただきありがとうございます。

K

謹啓

この度の阪神大震災に際しまして、神戸市に於いて被災し、大阪市立大開小学校に転校させて頂き、お世話になっております。孫Oに対しまして過日は貴組合より御丁寧なお見舞の学用品を沢山頂戴いたしました。誠に有難うございました。大切に使用させていただきます。申しまして大変喜んでおります。御礼が遅くなりましたが、保護者といしまして厚く御礼申し上げます。

貴組合の益々の御発展をお祈り申し上げます。

Y

編集後記

あれから9カ月が経過しようとしている。私にとっての阪神大震災は、この記録集の発刊によって、一応、終わることになる。

しかし、被災地の人々にとって、その終わりは未だ遠い。

毎日新聞に設けられた「―阪神大震災 暮らしの再建を―毎日・希望新聞」は、今日も被災者の「心の悩み」や「賃借して住んでいた借家」に関わるトラブル等についての法律相談などを掲載している。仮説住宅での独居老人の孤独死という痛ましい出来事の報道も後を絶たない。

私たちは、この阪神大震災という未曾有の体験から、何を学び、何を財産として後世に伝えることができるのか、「教職員組合」という視点から、この記録集の編集にとりくんだ。

編集を終えて、改めて、大阪の教職員に強い誇りを持つことができた。部落解放運動から出発した解放教育、在日朝鮮人教育、障害児教育等々にとりくんできた大阪の教職員の「豊かな感性」と「確かな眼」が、この震災の中で、随所に発揮されていることを知ったからである。

それは、被災して転入してきた子どもたちへ、「就学援助」の適用を求めたことやコクヨ労組との連帯による「学用品」支援など組織的にとりくんだものだけではなく、救援ボランティアとして避難所へ入った大阪教組組合員一人ひとりの生き方の確かさと言うことである。

自身の勤務校の子どもたちによる「はげましの手紙」や絵本をたずさえてボランティアに参加した組合員。避難所（学校）の外にいる被災者には物資が行きわたってない、として勤務している学校のある市内全体に呼びかけ、学校からリヤカーを探し出し、食料配布を行った組合員。在日朝鮮人団体に働きかけ、「トック」の炊き出

し、という日朝連帯を創造した組合員。またある組合員は、かつて髪の毛をまっ黄色に染めていたツツパリの青年が、自らボランティアに志願し、活動していく中で、顔つきそのものが変化していったことを記録している。その青年は、自身が京都の被差別部落出身である、ということとそのボランティア教師に語るのである。

「また、難民食、食べに来いよ。」と、任務を離れるボランティア教師を送ったある避難所のリーダーは、夜、ボランティアとの語りの中で、「ワシも、部落出身じゃ。ワシは、教師というものはみんな嫌いじゃったが、オマエらはちよつとちやうなあ」と独白する。私は、この記録集を編集しながら、記録された被災の実相に胸打たれながらも、こういった一つ一つのエピソードの中に表れる「大阪の教職員」（我が組合員）のとった行動、子どもたちとの出会い、救援の視点などなどに鼻が何ども何ども高くなるのを感じた。やっぱり、大阪の教職員はすごい……。

一九九五年十月

教育文化局長 新居晴幸

阪神大震災記録集編集委員

ブロック名	単組名	氏 名
豊 能 B	豊 中	山本 俊徳
三 島 B	吹 田	矢島 実
北河内 B	守 口	富嶋 修
中河内 B	東大阪	合田 創
南河内 B	南河内	羽山 彰
泉 州 B	堺	富田 恵子
市 教 組	本 部	酒井 聖
高 教 組	本 部	森 明啓
大 阪 教 組 本 部	新居 晴幸 土屋 敏明 木原 崇之	
日 教 済 大 阪 支 部	若見 晃 桧物 憲	

子どもたちと教職員の

記録

——阪神大震災

発 行 日：1995年10月21日

企画・発行：(有)現代学校事務研究所ブックサービス
〒543大阪府天王寺区上本町 6 - 2 - 38
TEL/FAX (06) 767-8175

編 集 人：新居晴幸

編 集：大阪府教職員組合・日教済大阪支部

印刷・製本 キンキ写植印刷株式会社